

第六十三回帝國議會
衆議院

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案外二件委員會會議錄(筆記)第二回

會議

昭和七年八月二十八日(日曜日)午前十時三十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 樋口 典常君

理事堀川 美哉君 理事石川 又八君

理事枅谷 寅吉君

高橋熊次郎君 戸田 虎雄君

春名 成章君 磯部 清吉君

畑七右衛門君 星島 二郎君

渡邊 與七君 丹下茂十郎君

櫻井兵五郎君 西脇 晋君

野中 徹也君 栗原彦三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林省農務局長 小平 權一君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大藏次官 黒田 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案(政府提出)

產業組合法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)
提出)

○樋口委員長ハ開會ヲ宣告ス

○丹下委員ハ暫時休憩スヘシトノ意見ヲ提出ス

○樋口委員長ハ丹下委員ノ意見ニ異議ナキヲ認メ休憩ヲ宣告ス

午前十時三十六分休憩

午後一時三十六分開議

(以下速記)

○樋口委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス、議事ニ入ルニ先ッテ御相談致シタイト思ヒマス、議案ハ產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案、產業組合法中改正法律案、產業組合中央金庫法中改正法律案、此三案ヲ一括シテ議題ニ供シマシテ、各案ニ互ッテ大體ニ付テ質問ヲ致シタイト、斯様ニ思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○樋口委員長 ソレデハ御異議ナイモノトシテ、左様ニ取計ヒマス——ソレカラ質問

シテ、申込ガ參ッテ居リマス、是ハ申込順ニ依テ

御許シシタイト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○樋口委員長 御異議ナイモノトシテ、左様ニ取計ヒマス、今農林大臣ノ説明ガアルサウデスカラ、一寸御待ヲ願ヒマス——政府提出ノ產業組合關係ノ三案ヲ議題ニ供シマス——農林大臣ノ御説明ヲ求メマス

○後藤國務大臣 產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案、產業組合法中ノ改正法律案、產業組合中央金庫法中ノ改正法律案ハ、關連ヲシテ居リマスルモノデアリマスルカラ、順次ニ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス

第一ニ產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案ノコトデゴザイマス、產業組合ハ中小産者殊ニ農村ニ於ケル金融機關ト致シマシテ、極メテ重要ナ地位ヲ占メテ、其貸出金ハ十億圓ヲ超ユルノ狀況デアリマス、近頃經濟界ノ異常ナ不況ノ結果、其貸出金ノ中ニハ、相當巨額ノ固定貸付ヲ生ジマシテ、今ヤ其額ハ凡ソ三億圓位デアルト推測セラレテ居ルノデアリマス、隨テ是ガ爲ニ金融ノ圓滑ヲ缺イテ中小産者、殊ニ農村ノ

產業及經濟上蒙ル打擊ハ著シイモノガアリマス、仍テ其固定シテ居ル債權ヲ資金化致シマシテ、金融ノ疏通ヲ圖ルコトニ致サナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、茲ニ產業組合ノ中樞金融機關デアリマス產業組合中央金庫ヲシテ、信用組合聯合會及信用組合ニ對シテ、主務大臣ノ定ムル方法ニ依ッテ特別ノ融通ヲ爲サシメマシテ、以テ金融ノ梗塞ヲ緩和セントスルノデアリマス、サウシテ此特別融通ヲ爲スベキ金額ハ、大體今固定シテ居ルト推測セラレル債權額ノ、約三分ノ一ニ相當スル一億圓以內ト致シマシテ、之ニ要スル資金ハ大藏省預金部ノ資金中カラ、融通ヲスル豫定デアリマス

尙ホ此特別融通ハ、現下ノ金融梗塞ヲ緩和スル目的ニ出ヅルモノデアリマスカラ、產業組合中央金庫ガ特別融通ヲ爲ス期間ハ、本法施行ノ日カラ三年內ト致シタノデアリマス

次ニ此特別融通ハ之ニ依ッテ組合及聯合會ノ金融ノ疏通ヲ圖リ、延イテ是ガ更生ヲ期セントスルモノデアリマスガ、此融通ヲ受クル組合又ハ聯合會ニ於テハ、將來是ガ償還ヲ爲シ得ルニ至ルデアラウト考ヘラレ

付託議案
產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案
(政府提出)
產業組合法中改正法律案(政府提出)
產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

マスケレドモ、何分現下ノ如キ經濟事情ノ激變シタ時ニ於キマシテ、組合及聯合會ノ前途ニ危惧ノ念ヲ懷イタノデハ、融資ヲ十分ニ安心シテ出來ナイコトニナルノデアリマス、故ニ產業組合中央金庫ガ特別融通ヲ爲スニ依ッテ損失ヲ受ケタ時分ニハ、之ニ對シ三千萬圓ヲ限り政府ニ於テ其損失ヲ補償スルノ契約ヲ結ンデ、安ンジテ融通ヲ爲サシメ、以テ金融疏通ノ實ヲ舉ゲント致スノデアリマス、又其損失ノ決定ヲスル場合ニ、之ヲ公正ナラシムル爲ニ、勅令ヲ以テ產業組合中央金庫特別融通損失審査會ヲ設クルコト、致シマシタ、且ツ產業組合中央金庫ニ對スル補償ハ、公債ノ交付ヲ以テ之ヲ爲シ得ルコト、致シマシタ、以上本案ノ大體ノ梗概デゴザイマス

次ニ產業組合法中改正法律案ノ御説明ヲ致シマス、我國ノ產業組合ガ、最近著シク普及發達シテ參リマシテ、特ニ農村ニ於キマシテハ、其產業經濟ノ殆ド唯一ノ機關タルニ至ッテ居ルノデアリマス、現下ノ經濟界殊ニ農村ノ非常ナ不況ニ鑑ミマスルニ、此際ニ其制度ニ改正ヲ加ヘテ、一層產業組合ノ活動ヲ促進シテ、普ク之ヲ利用セシメマスルコトハ、洵ニ必要ナ、急施ヲ要スルコトデアルト考ヘルノデアリマス、仍テ茲ニ

產業組合法中改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス

遂行上ノ便ヲ圖リマシテ、且ツ其監督ノ周到ヲ期スルガ爲ニ、事業年度ヲ六箇月トナシ得ルコトニ致シマシタ、是マデハ事業年度ヲ一箇年ト致シテ居ルノデアリマス

今回ノ改正事項中、其主要ナモノヲ述ベマスレバ、第一ニ產業組合及產業組合聯合會ノ信用ヲ擴大シ、資金ノ融通ヲ圓滑ナラシムルガ爲ニ、其責任限度ヲ擴張シ、個々ノ單位組合ニ在リマシテハ、大體市街地ノ信用組合及經濟用品ノミヲ扱フ購買組合、所謂消費組合ト稱セラレルモノヲ除キマシテ、其他ノ組合ニ付キマシテハ保證責任、又ハ無限責任ト致シテ、聯合會ニアッテハ總テ之ヲ保證責任ト致スコトニ致シタイト考ヘルノデアリマス

第五ニ產業組合及產業組合聯合會ノ事業ノ統制ヲ期スル爲ニ、定款ニ違反シタル組織者ニ對シ、過怠金ヲ課シ得ルモノト致シマシタ

第十二ニ特殊事業ヲ爲ス產業組合聯合會ノ設立ヲ容易ナラシムル爲ニ、聯合會ハ二以上ノ組合又ハ聯合會ヲ以テ、之ヲ組織シ得ルモノト致シマシタ

第二ニ農村ニ於ケル產業組合ノ活動ヲ便ナラシメ、其利用ヲ普遍的ニスル爲ニ、サウシテ同時ニ眞ニ中小產業者ノ相互扶助ノ實ヲ舉ゲシメルガ爲ニ、現ニ農村ニ發達シテ參ッテ居リマスル農事實行組合ヲ簡易ナ法人トシテ、養蠶實行組合ト共ニ、產業組合ノ組合員トナルノ途ヲ開クコトニ致シマシタ

第六ニ產業組合及產業組合聯合會ガ存立時期完了ニ依ッテ解散シタ場合ニ於テ、組織者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ、便宜繼續ヲ爲シ得ルコト、致シマシタ

第十一ニ本改正法施行前ニ設立シタ有限責任ノ組合ニ付キマシテハ、保證責任又ハ無限責任ニ致スノデアリマスガ、本改正法律案ニ依ッテ有限責任トシテ存續ノ出來ル期間ヲ、本法施行後三ヶ年ヲ限り許スト云フコトニ致シマシタ、此期間内ニ其組織ヲ變更シテ、保證責任トナリ得ルコトニ致シタノデアリマス、以上ガ今回改正ノ要點デゴザイマス

第三ニ產業組合及產業組合聯合會ノ監督ヲ徹底セシメルガ爲ニ、區域ガ道府縣ヲ超ユル組合及聯合會ノ設立、其他監督ハ、主務大臣ニ之ヲ屬セシメルコトニ致シタノデアリマス

第七ニ購買組合聯合會ハ、信用組合聯合會及利用組合聯合會ト同ジヤウニ、各種ノ組合又ハ聯合會ヲ以テ之ヲ組織スルヲ適當ト致シマスノデ、同種ノ事業ヲ行フ組合、又ハ聯合會ノミヲ以テ組織スベキモノトシテ居リマスル現行法ノ規定ヲ改メマシテ、各種ノ事業ヲ爲ス組合、又ハ聯合會ヲ以テ之ヲ組織シ得ルモノト致シマシタ

第九ニ產業組合聯合會ノ資力ヲ増大セシメ、其組織者ニ對スル資金融通ノ圓滑ヲ徹底セシムルガ爲ニ、道府縣區域ノ信用組合聯合會ヲシテ、手形ノ割引ヲ爲シ得ルモノト致シマシタ

第四ニ產業組合及產業組合聯合會ノ事業

第九ニ產業組合聯合會ノ資力ヲ増大セシ

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

御説明ヲ致シマス、今回ノ產業組合法中改正法律案ニ

正ニ伴ヒマシテ、產業組合中央金庫法中改正ヲ加フル必要ガアリマスルト共ニ、產業組合ノ中樞機關デアアル產業組合中央金庫ヲシテ、其機能ヲ十分ナラシメマス事ガ必要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

要デアリマス、仍テ茲ニ產業組合中央金庫法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、改正ノ要項ハ第一ニ產業組合中央金庫

ノ資力増大ニ資スルガ爲ニ、其組織者ノ有

スベキ出資口數ノ最高限度ヲ、産業組合ニ

アツテハ五百口迄、聯合會ニアツテハ千口マ

デニ増加致シマス、第二ニ餘裕金ノ運用ヲ

便宜ニスル爲ニ、主務大臣ノ認可ヲ受ケタ

有價證券ヲ買入レ得ルコトニ致シマシタ、

第三ニ事業ノ圓滑ナル遂行ヲ圖リ、且ツ監

督ノ周到ヲ期スル爲ニ、事業年度ヲ六箇月

ト致シマシタ、其他産業組合法ノ改正ニ伴

テ、必要ナル準備條文ノ整理ヲ致シタノデ

アリマス

以上三案何卒御審議ノ上、速ニ御可決ア

ランコトヲ希望致シマス

○樋口委員長 引續キ大藏大臣ノ説明ヲ求

メル手配ヲシテ居リマスガ、今一寸差支ガ

アルヤウデ、マダ分リマセス、農林大臣ハ蠶

絲ノ方ノ委員會ガ大臣ノ出席ノナイ爲ニ開

カレナイデ居ルサウデスカラ、一寸行ッテ簡

單ニ説明ヲシタイガ御諒解ヲ得タイト云フ

コトデゴザイマスガ、御差支アリマセスカ

○丹下委員 私ノ質問ハ細カイコトハ後ニ

廻ハシテ局長其他カラデ結構デスガ、少シ

預金部ノ低利資金ノコトニ付テ、大臣ノ御

説明ヲ御聽キシタイト思ヒマスカラ、ソレ

ダケ簡單ニ御答ヘ願ヒタイト思ヒマスガ、

御差支ガアレバ……

〔後藤國務大臣退席、程ナク出席〕

○樋口委員長 農林大臣ガ見エマシタカ

ラ、質問ヲ願ヒマス

○丹下委員 預金部ノ低利資金ノ關係ニ付

キマシテ、勿論此法案ニ關聯シテ來ル問題

デアリマスカラ、此機會ニ御尋シテ置キタ

イト思フ、從來預金部カラ低利資金トシテ

産業組合其他ノ産業團體ニ對シマシテ、融

通シテ居ラレマスル金額ノ中デ、本年度ガ

償還期限ニナツテ居ルモノト、本年マデニ償

還ガ遅延致シテ居ルモノトヲ合セテ、約九

千萬圓バカリニナツテ居ルト聞イテ居リマ

スガ、是ハ事實ドノ位ニナツテ居リマスカ

○後藤國務大臣 今ノ御尋ハ、預金部ノ低

利資金トシテ産業組合又ハ銀行其他ノ關係

ヲ通シテ、貸出シテ居ル金額ガ九千萬圓ト

聞イテ居ルガ、ドウカト云フ御尋デアリマ

ス、ソレトモ産業組合ダケノ……

○丹下委員 農林省所管耕地整理其他産業

團體、ソレ等ニ貸シテアル中デ、今年度償

還期限ノモノト、今年度マデノ滞リ貸、之

ヲ合セテ九千萬圓ニナツテ居ルト云フコト

デアリマスガ……

○後藤國務大臣 ソレハ約八千萬圓ダサウ

デアリマス、其他ノ省ノ分ハ幾ラアルカ、

調べテ見マセスト分リマセス

○丹下委員 ソコデ只今承ツタ八千萬圓ノ

中デ、六千五百萬圓バカリ政府ガ今度更ニ

低利資金ヲ出シテ、其滞リ貸ノ償還資金ト

シテ貸付フスル計畫ガ立ツテ、既ニ預金部ノ

運用委員會デ、決定シテ居ルサウデアリマ

スガ、之ニ付テ農林省所管ニ屬スベキモ

ノ、中デ、其ノ貸付金額、貸付ノ方法、利

息其他ニ付テ、詳細ニ農林大臣カラ承ツテ見

タイト思ヒマス

○後藤國務大臣 本年償還期限ノ來テ居ル

モノ、中、農林省ノ方デ預金部低利資金關

係デ、新ナ資金ヲ供給シテ借替ヲサス、借

替ヘタモノハ長期ノ年賦デ償還ヲサセルト

云フコトニ致シマス、金額ハ約五千百萬圓、

其方法ハ只今一寸申シマシタヤウニ、期限

ノ來タモノニ付テ新シイ資金ヲ預金部ガ供

給シマシテ、借替ヲサセマシテ、ソレヲ十

五箇年賦デ返サセル、ソレハ大體明年及明

後年ニヤハリ償還期ノ到來スルモノニ付テ

モ、同様ノコトヲ行フ豫定デアリマス、恰

度三年ニ互リマス償還期限ノ來ルモノ、全

部デハアリマセヌガ、其大部分ニ付テ新資

金ノ借替ト云フ方法デ、十五箇年先ヘ償還

ヲ年賦デ延バス、斯ウ云フコトニナツテ居リ

マス

○丹下委員 其利息ハドウ云フコトニナツ

テ居リマスカ

○後藤國務大臣 利息ハ元ノ通りノ利息デ

アリマス

○丹下委員 サウ致シマス、今年度以

降、三箇年間ニ償還期限ニナツテ居ルモノ、

借替フスル、サウシテ其中デ、其全部デナ

クシテ一部デアルト云フコトニ承リマシタ

ガ、其歩合ハドレダケヲ借替ヲサスト云フ

御見込デアルカ、聞ク所ニ依ルト六割乃至

八割ヲ超エナイ、二割乃至四割ハ所謂自力

更生ト云フヤウナ意味デ、必ズ直接ニ償還

ヲサセル、斯ウ云フヤウニ聞イテ居リマス

ガ、實際其償還ガ不可能ニナツテ居ルヤウナ

モノハ、要スルニ行詰ツテ到底サウ云フ一部

分ノ償還ガ出來ナイモノガ、即チ此借替ノ

必要ガアルモノデアアル、何故借替フスルト

云フコトデアアルナラバ、其全部ヲ借替スル

コトガ出來ナカッタカ、此點ニ付テ一ツ所謂

時局匡救ト云フ意味カラ見テ、何故サウ云

フコトヲシナケレバナラヌカ

○後藤國務大臣 是ハ大藏省ノ關係ノ當局

カラ、或ハ御説明申上ゲタ方ガ適切デアアル

カ知レマセヌガ、私カラ申上ゲマス、預金

部ノ色ミナ事情ニ依リマシテ、其年度ニ償

還ノ期限ノ到來シタ元金又ハ利子ヲ引括メ

テ、大體六割見當ノ償還ヲ、今ノモノデ緩

和シテヤラウト云フコトニナッテ居リマス、

其根據ハ其年度内ニ入ルベキ利子ハ、預金

部ノ計算上下ウシテモ拂ッテ貰ハナケレバ

ナラヌ、其利子ノ金額ヲ差引イタ残リノ金

額ヲ目安ニシテ、償還ヲ延バスト云フ方法

ヲ執ッタノデアリマス、但シ元金ト利子トハ

年賦償還デハ色ミナ割合ニナッテ居リマス

ノデ、利子ダケハ全部取り、元金ダケ延バ

スト云フコトニスルノデハ、個々ノ借受ヲ

シタ者ニ取ッテ、非常ナ不便ナ状態ガ生ズル

ノデアリマス、其償還ノ爲ニ新資金ヲ貸ス

ノハ、元利ヲ合セタ所デ見合ヲ付ケテ行ク

ト云フコトニハナッテ居リマスガ、大體六割

ト云フコトハ今申上ゲタヤウナ譯デ限度ニ

ナッテ居ルガ、併シ事情ニ依テハ八割迄ハ延

シテヤルコトガ出來ル、是ハ償還ノ期限ノ

到來シタモノト言ヒマシテモ、色ミ借受人

ノ事情ガアリマス、償還ノ極メテ容易ニ出

來ル者モアリマセウ、強ヒテ六割迄延シテ

貰ハナクテモ、少シ延シテ貰ヘバ宜イト云

フ者モアリマセウシ、又後年ニ負債ヲ殘ス

コトヲ希望セズ、豫定ノ如ク償還ヲシテ宜

イ者モアリマセウ、ソレト又一面ニハ六割

デハ足ラヌ、矢張ソレ以上償還ヲ待ッテ貰ハ

ナケレバナラヌト云フ者モアリマセウ、ソ

コデ六割ト云フ基準ハ立テタガ、八割迄ハ

行ケル、其代リニ償還ノ出來ル者ニ付テハ、

矢張豫定ノ如ク償還ヲシテ貰フ、其分量ガ

多ケレバ多イ程他ノ償還ノ困難ナ者ノ爲ニ

ハ、餘計ナ金額ノ延期ガシテヤレルト云フ

ヤウナコトニ、相成ル譯デアリマス、是ハ

府縣其他ノ取扱ヲスル場所デ相當考慮ヲシ

テ、適切ナル割振リヲサセタイト思ッテ居ル

ノデアリマス、金額ニ及ンデ居リマセヌノ

ハ、金額ヲ負ケルコトニナリマス、外ノ

色ミナ債權債務其他ノ關係ニ於キマシテ

モ、影響スル所ガ大キイノデアリマシテ、

國ノ低利資金デアリマスル關係上、其一部

ハ矢張償還ノ期限ガ來タリ、利子ノ拂ガ來

タナラバ、二割ダケハ返シテ貰ハウト云フ

ヤウナ、建前ニナッテ居ル譯デアリマス

○丹下委員 今ノ御説明ニ依ルト、利息ノ

御話ガアリマスガ、年賦償還ハ所謂利息ト

元金ガ年賦均等償還ニナッテ居ル譯ダカラ、

其年ノ償還額ノ中ニハ、元金モ利息モ入ッテ

居ル、ソレヲ合セテ償還シテ行クノデアアル

カラシテ、利息ダケ引分ケテ返ストカ、返

サストカト云フ理窟ハ分リ兼ねマス、同時

ニモウ一ツ御伺申上ゲテ置キマスガ、今ノ

御説明デ行クト、所謂償還出來ルモノハ先

ヅ六割、ソレ以上若シ其借替ノ少イ者ハ、

成ベク餘計ニ助ケテヤルコトモ出來ルト云

フヤウナ御話デアリマス、償還ガ出來ル能

力アル者ナラバ宜イガ、本當ニ行詰ッテ居ル

者ハ、一割二割ト云フモノハ中ニ出來ナイ

カラ、結局滞ッテ居ル、ソコデ四割前後ノ償

還出來ルモノヲ振當テ、行ッテ、全額迄モ之

ヲ借替ヘテヤルコトガ出來マス、サウ云

フコトハ融通ガ付イテモ、全額ノ借替ハヤ

ラサナイト云フ御積リデアリマス、其點

併セテ伺ヒマス

○後藤國務大臣 利子ノ關係ハ私ノ話ガ少

シ混雜シテ、御諒解ガシ難カッタノカモ知レ

マセヌガ、預金部ガ新資金ヲ供給シテ、借

替ヲサセヨウト云フ金額ノ目安ガ、利子ダ

ケハ預金部ノ計算上入ルコトニシナケレバ

ナラヌト云フ爲ニ、ソレヲ差引イタ金額ガ、

今年ノ償還ヲ延バシテヤル資金トナッタト

云フコトデアリマス、實際延バシテヤル

モノハ、元利ヲ引括メテ計算シテ六割、ソ

レガ八割マデニ至ルコトガ出來ル、サウ云

フコトニナッテ居リマス、但シ一番低イモ

ノガ六割ト申上ゲル譯デアリマセヌ、尙

ホ三割ダケ償還ヲ待ッテ貰ヘバ宜シイ、或ハ

自分ノ所ハ待ツテ貰ハズニ拂ヘルト云フモ

ノモ、相當ニアルト思ヒマス、其結果トシ

テ一面ニハ八割マデモ償還ヲ延バシテヤル

者ガ出來ルヤウナ、割振高ニナルト云フヤ

ウニ考ヘテ居リマス、今御話ノヤウニ困ッテ

返セナイヤウニナリマス、八割デモ困ル、

後メ二割デモ困難デアル、サウ云フ事情モ

アルト思ヒマス、唯預金部ガ全體ニ此資金

ヲ貸出シタリ、ソレヲ延期シタリスルヤウ

ナ點ニ於テ、利子モ元金モ全額ヲ全然延バ

シテヤルノダト云フコトハ、穩當デナイト

云フコトデ、預金部ノ運用委員會デ只今申

上ゲタヤウニ、決定ヲ見テ居ル譯デアルノ

デアリマス

○丹下委員 預金部ノ方ノ態度ハサウ云フ

譯デアリマセウガ、農林大臣トシテハモウ

少シ其點ニ付テ、御努力ガ出來ナカッタモノ

カ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、之ヲ三

年間位中間据置ヲヤセルト云フコトハ、

出來ナイノデアリマス、ソレヲ一ツ大藏

當局ト交渉サレタラドウカト思ヒマス、此

際借替トカ何トカ言フテモ、結局勸業銀行

ニ融通ヲ付ケテヤルノハ、所謂債權者ノ擁

護デアル、之ヲ借りテ居ル者ニ付テハ何等

ノ利益ハナイ、結論ハ私ハ債權者ノ擁護ニ

止マルト思フ、寧ロ此際三年間位中間据置

ト云フコトヲシテ、其間ノ利息ヲ政府カラ

補給デモシテヤルト云フヤウナコトヲ、何

故ニ計畫ガ出來ナカッタカ、之ヲ一ツ御尋ネ

致シマス

○後藤國務大臣 中間据置トハ少シ形ハ

違ッテ居リマスガ、大體今申シタヤウナ限度ノ償還金ヲ、三年ニ互ッテ新資金デ借替サセルト云フノデアリマスガ、其新資金ハ後十五箇年ノ年賦償還デ先ニ延バシテ置キ、中間据置デ三年間元金ヲ拂ハナイデ、ソレカラ後ノ年カラソレヲ拂ッテ行クト云フノト、多少ノ計算ノ相違ハ出來マスケレドモ、大體類似シタ結果ニ相成ル譯ナノデアリマス、銀行ノ方ノ都合ガ良クナルト云フコトヨリモ、狙フ所ハ償還ニ困ッテ居ル者ニ償還金ヲ事實上延バシテヤルト云フ手續ノ執リ方ヲ、新資金ノ借替ト云フ方法ニ執ッタト云フコトニ、相成ッテ居リマス

○丹下委員

借替ト云フノデアリマスガ、借入ノ手續ノ上カラ見ルト、所謂新タナル借入ニナル、例ヘバ低利資金ノ借入ニ付テハ、主トシテ理事ト言ヒマスガ、責任者ガ個人保證ヲシテ、勸業銀行或ハ農工銀行ヲ通ジテ借リル、ソレカラ現在其人達ガ果シテ今度借替ヲスル借入金ノ、個人保證ノ地位ニ立テルカドウカ、所ガソレハ矢張現在ノ役員ノ個人保證デナケレバ、貸スコトハ出來マイ、サウスルトハハ債務者ノ方ニ於テハ妙ナ關係ガ出來テ來テ、中ニ是ハ實際問題ニ於テ困難デナイカト思フ、殊ニ私ノ

最モ遺憾ニ思フコトハ、利息ハ從前ノ通り

デアルト云フコトデアリマス、從前ハ主トシテ、四分八厘ノ預金部ノ利息ニ、勸業銀行ノ六分、或ハ農工銀行ノ五分ト云フヤウナ風ニ、五分二厘位ニシテ居ルヤウニ思フ、而モ今度ノ借換ハ、新シク貸スト云フコトデアルナラバ、今日新シク利息ヲ改訂シテヤルノガ私ハ當然ト思フ、預金部ノ郵便貯金ノ利下ハ既ニ發表セラレテ居リマスシ、殊ニ貴族院ニ於キマシテノ柳澤伯爵ノ極メテ詳細ナ論議デ盡キテ居リマスカラ、私ハ玆ニ數字ヲ擧ゲタリ、彼此レ申シマセヌガ、十月一日カラ三分ニ利下デアル、是モ大藏省ノ次官モ見エテ居リマスガ、一體四分二厘ノ郵便貯金ノ利息ヲ、時局重大ノ際デアルト云フノデ、零細ナ郵便貯金ヲ一分二厘ノ利下ゲヲ斷行シテ、サウシテ今度新ニ貸付ケルモノニハ、從前ノ四分八厘デヤルト云フコトニナリマス、一分八厘ト云フ利鞘ヲ結局取ルト云フコトニナル、何故サウ云フコトヲヤルカ、郵便貯金ヲ三分ニ利下ヲシタナラバ、郵便貯金カラ起ッテ來テ居ル此預金部ノ低利資金ト云フモノモ、ソレニ準ジテ三分六厘ニスルトカ、本當ニ郵便貯金ノ利息ヲ基本ニシタ低利貸シテヤツテコソ、初メテ是ガ低利資金ニナルト思フ

フ、郵便貯金ノ利子ヲ三分ニ下ゲテ置イテ、新シク貸スモノニ對シテハ、最モ好況ノ時分ノ郵便貯金ノ利子ハ四分八厘デアアル、其最モ好況ノ時分ノ利息ト同ジ利息デ借換ヲサセテヤルト云フナラバ、何處ニ恩典ガアルカ、何モ恩典ハナイ、左様ナコトデ此時局匡救ナント、大キナコトヲ言フガ、農林大臣ハ之ニ對シテ何故大藏省ニモツト突込ンデ吳レナカッタカ、此點ニ付テ尙ホ伺ヒタイ

○後藤國務大臣

詳シクハ大藏當局ノ方カラ御答シタガ便宜カト思ヒマスガ、大體ノコトヲ申上ゲマス、預金部ノ資金ノ運用ハ、今御尋ノ償還期限ノ到來シタ低利資金ノ償還ノ緩和ノ方面ノミナラズ、澤山ノ方面ニ可ナリ多額ニ放資サレルコトニナッテ居リマシテ、利子其他ノ預金部ノ會計ノ計算上、今直チニ利下ゲヲ此方面ニ付テモ致スコトガ出來ナイト云フヤウナ形ニナッテ居リマス、郵便貯金ノ將來ノ利下ゲ等ノコトモ相當考慮ニ入レ、又將來ノ資金ノ用途ト云フヤウナモノ、資金ノ金額等モ考慮ニ入レテ、只今ノ所、マダ是ノ利下ヲスルコトガ、直チニ見透シガ付カヌト云フヤウナ形ニナッテ居ルノデアリマス

○樋口委員長

一寸御諮リシマスガ、大藏

省ノ方デ大臣モ次官モ今差支ヘガアルサウデス、ソレデ黑田次官ガ御見エニナッテ居リマス、事務上ノコトニ付テノ説明、答辯ヲ、黑田次官ニ許シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○樋口委員長

ソレデハ今ノハ黑田次官ニ突込ンデ見テハドウデス

○丹下委員

此點ハ、私ハ勿論今ノヤリ方ハ、農林大臣ヲ責メルバカリデハナイガ、農林大臣トシテモウ少シソレヲ突込ンデ貰フ必要ガナカッタカト云フコトヲ聞イテ居ルノデアル、結局ハ大藏省ノ方ニ之ニ對スル御意見ヲ十分承ッテ見タイト思フ、大體今世論ノ最モヤカマシイ負債整理ト云フヤウナ問題カラ考ヘテ見マシテモ、借金棒引トカ、或ハ半減トカ、是ハ實現不可能デアルコトハ申ス迄モナイガ、結論トシテハ、ドウシテモ期限ノ所謂延期ト云フコト、利息ノ引下ト云フコトヲシテ、緩和スルヤウナ途ヲ採ルノ外ハナイト私ハ思フ、隨テ今日地方産業組合、或ハ耕地整理組合等ノ團體ノ、償還ニ困ッテ居ル者ヲ、玆デ所謂匡救ノ目的ヲ達スルニハ、ドウシテモ政府ガ貸シテ居ル、即チ政府ノ低利資金、之ニ依ッテ自ラ範ヲ示シテ、要スルニ負債整理ノ途ヲ

樹テ、行クヤウニ導イテ行カナケレバナラスト私ハ思フ、其方法トシテハ、結局ハ中間据置ヲシテヤルト云フコト、隨テ期限ガ相當ニ延長サレ、利息ヲ政府ハ之ヲ補給シテヤル、或ハ利子ノ引下ヲ行フ、此四ツノ項目以外ニハ私ハナカラウト思フ、ソコデ要スルニ私ハ最後トシテハ、ドウシテモ此郵便貯金ノ利下ヲ、三分迄モ大英斷デヤッタナラバ、今後貸付ケテ行ク所ノモノハ、ソレニ準ジテ下ゲテ行クノハ當然デアリ、又柳澤伯爵ノ質問ニ對シテ、總理大臣ガ答辯シテ居ルコトカラ考ヘテ見マシテモ當然ノコトデアル、齋藤總理大臣ノ答辯ヲ此處ニ一寸引例シテ見マス「此際此趣旨ヨリシテ郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲ、之ニ依ッテ預金部ノ資金貸付ノ利率ヲ低下イタシ、殊ニ各種ノ地方資金ヲシテ低利ニ融通ヲ致シ、農村及中小商工業者ノ救済ニ資スルト共ニ一般金利ノ低下ヲ誘導セムトスル者デアリマス」斯様ニ總理大臣ハ言明致シテ居ル、所ガ今申上ゲルヤウナ譯デ、又今農林大臣ノ御説明ノ如ク、此利率ハ從前ノ通りデアルトスルト、總理大臣ノ言明ガ嘘デアルカ

シテ、郵便貯金ノ利子ヲ上ゲナケレバナラスト時ガアルカモ知レナイ、サウ云フ時ニ、上ゲルノハ非常ニ困難デアル、或ハ又、年賦償還金ヲ算出スルニ付テ非常ニ面倒デアルカラ、先ヅ此儘デ行クト云フヤウナ理窟ガアルカモ知レナイガ、是ハホンノ枝葉末節デアッデ、コンナコトハ又契約ノ方法ニ依ッテ、若シ郵便貯金ノ利子ヲ上ゲル場合ニハ、改定スルト云フ契約ヲシテ置ケバ足リ、何モソナコトヲ彼此レ躊躇逡巡スル必要ハナイト思フ、坊間、傳フル所ニ依リマス、預金部ニ相當ノ赤字ガ出テ居ル、其赤字ヲ補填スル爲ニ斯ウ云フ利鞘ヲ取ッテ、赤字ヲ補填スル、斯ウ云フヤウナコトヲ言ッテ居ル、是ハマア事實カドウカ知リマセスガ、是等ニ付テ少シ御親切ナル答辯ヲ煩ハシタイ、何トカ利子ヲ下ゲテ行クト云フコトニ、此際變更シテ戴キタイ、此總理大臣ノ答辯ニ依ッテ御答ヲ願ヒタイと思ヒマス

○後藤國務大臣 一寸大藏當局ノ方カラ御説明ノアリマス前ニ、先刻申シタコトニ附加ヘテ申シテ置イタラ宜カラウト思ヒマス、先程申シタ償還期限ノ來タモノヲ、新資金ヲ借りテ借換ヘヲサセル、ソレヲ十五箇年ノ年賦償還サセルト申シマシタガ、此年賦償還金ハ、五箇年据置キマシテ、五箇年据置ノ後、十五箇年ノ年賦償還デ還スト云フコトニナッテ居リマス

○黒田大藏次官 ソレデハ私カラ只今御尋ノ點ニ關シマシテ、御答ヲ申上ゲタイと思ヒマス、郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲマシタ結果預金部ノ貸付利率モ今後多少下リマセウ、低利資金ニ付キマシテハ、之ヲソレニ順應致シマシテ、出來ルダケ引下ゲタイ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、從來郵便貯金ノ利子ハ四分二厘デアリマス——從來ト申シマシテモ、十月一日カラ實行サレルノデアリマスカラ今日モ四分二厘デアリマスガ——其場合ニ低利資金トシテ出シテ居リマスル最低ノモノハ、同ジ率ノ四分二厘デアリマスガ、今度十月一日カラ郵便貯金ノ利子ガ三分ニ下リマス結果、低利資金ノ利率モ之ニ順應シテ下ゲマスルガ、今日四分二厘ノ場合ニ、四分二厘ト同ジヤウニ三分ニナリマスレバ、三分ト申スコトハ是ハ多少困難ノ事情ガアルノデアリマス、ガ併シ三分ニ何ガシカヲ加ヘマシタモノヲ以テ低利ノモノ、最低ノモノト致シタイ考ヲ以テ、只今調査ヲ致シテ居リマスルガ、大體三分ニ下リマシタノニ順應致シマシテ、三分二厘トカ、或ハ三厘トカ云フヤウナ低利ニ引下ゲル考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シ從來貸付ケテ居リマスモノニ付キマシテハ、是ハヤハリ之ニ應ジマシテ、順次ニ成ベク引下ゲテ參ル考ヲ持ッテ居リマスルケレドモ、直ニ之ヲ引下ゲルコトハ困難ナノデアリマス、是ハ預金部ノ經理ノ上カラ申シマシテ、直ニ之ヲ引下ゲルコトガ困難デアリマスノト、只今枝葉末節ト云フ御話デ、サウ云フ答辯モスルグラウト云フ御話ガアリマシタガ、將來郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲル場合ガアリマシタヤウナ場合ニ於テ、是ハ引上ゲルト云フコトガ、從來ノ例ニ依リマシテモ困難ナノデアリマス、此利率ニ依ッテ色々ノ仕事ヲ計畫シテ居ルノデアリマスカラ、引下ゲルコトニ於テハ何等ノ差支ハナイノデアリマスケレドモ、上ゲル方ハ計畫ニ齟齬ヲ來スノデアリマシテ、是ハ非常ニ困難ナノデアリマス、サウ云フ點モ多少ハ考慮ニ入レナケレバナラスノデアリマス、ソレハ重大ナ問題デモアリマセヌケレドモ、併シ預金部ノ方モ色々ナ經費ヲ要スルノデアリマスカラ、低利ニシテ、其利鞘ヲ殆ド見ナイデ、貸シテ居リマスヤウナ狀況ニ於キマシテハ、他ニ是ノ資金ヲ求メナケレバナラスノデアリマス、デアリマスルガ、併シ從來貸シテ居リマスモノニ付キマシテモ、高利ノモ

ノニ付キマシテハ十分之ヲ引下ゲテ參ッテ、郵便貯金ノ利下ニ順應致シタイ考ヲ持ッテ居リマス、唯只今、私途中カラ伺ッタノデアリマスガ、先般預金部委員會ニ於テ決定致シマシテ、實行致シテ居リマスル本年償還シマスル分、六千五百萬圓ノ新資金ノ融通ノコトニ付キマシテノ問題デアリマスガ、其利率ヲ何故低利ニシナカッタカト云フ御話デアリマス、是ハ只今御尋ニナリマシタヤウニ、今年カラ三年間ノ豫定デ居リマスガ、本年ノ償還スベキモノヲ延シテヤル、所謂中間据置ヲ認メタト同ジヤウナ結果ヲ得セシメル爲ニ、本年ノ分ヲ新シイ資金ヲ出シテ、サウシテ返サセルト云フノデアリマスカラ、借主ノ方カラ見マスレバ、本年ノ分ガ、詰リ資金ノ調達ヲシテ返サナクテモ宜イト云フノト同ジコトニナッタノデアリマス、詰リ延スト同ジコトニナル、其同ジコトニナル結果ヲ得セシメマスルノニハ、從來ノ貸付ケテ居リマスル利率ト同ジデアッデ宜シイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、同ジ率デ出シマシテ、サウシテソレガ据置期間ヲ認メテ、サウシテ長期ニ償還スルト云フコトニナリマスレバ、詰リ本年ノ分ヲ返サスデ、ソレヲ済シ崩シニ後デ返シテモ宜イト云フコトノ、特典ヲ與ヘ

タト同ジ結果ヲ得ルノデアリマスカラ、特ニ之ヲ元ノ貸付ト違フ利率ニスルト云フコトハ、シナクテモ宜シイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ元ノ貸付ノ方ハ先程申シマシタヤウニ、今回ノ利下ニ順應致シマシテ、引下ゲルト云フ風ナ結果ヲ生ズルトスレバ、當然是モ引下ゲラレコトニナルノデアリマス、ガ併シ今日ハ先刻申シマシタヤウニ、元ノ貸付ケタモノヲ唯延シテヤルト云フ趣旨カラ申シマスレバ、同ジ利率デ宜イト云フ結果ニナルト思フノデアリマス

○丹下委員

モトノ一般貸付ノ利下ト云フ

コトニ付テ、是ハ勿論私共希望スル譯デアリマスガ、ソレハ措意テ、私ノ質問ノ趣意ハ、六千五百萬圓ノ金ヲ新ニ貸付ノ手續ヲ取ッテ貸スト云フカラ、然ラバ新シイ利率ニ依ラナイカ、又黒田次官ノ御説明デ行クト、中間据置ト同様デアル、是ハ私共最モ希望スル所デ其ヤウニ願ヒタイ、所ガ其内容ヲ聞イテ見ルト、八割迄ハ融通スルケレドモ、二割ハ融通資金ニ出サナケレバナラヌ、斯ウ云フノデアルカラ、此二割乃至四割ト云フモノハ繰越金ヲ償還スルコトニ非常ニ困難ヲ感ジテ居ルカラソレニ向ケル、私ガ最初主張シテ居ルノモ即チ三年間停滯

シテ居ルモノハ其儘据置イテ三年ノ先キヘ延バシテヤル、ソレガ今日ノ時局匡救ニ相應ハシイ方法デアル、ソレガ出來ナイデ今ノ手續ヲ取ルナラ、利息ヲ改訂シテヤル、斯ウ云フノデアリマス、ソレカラ色ミ御説明ガアリマシタガ、要スルニ是ハ四分八厘ノ時ニハ四分八厘ニ貸サレ、四分二厘ノ時ニハ四分二厘ニ貸サレテ居ルノデアルカラ、三分ニナッタラ三分ニ貸スト云フノデ、何等其間ニ不都合ハナイヤウニ思フ、ソレカラ色ミ費用モ掛カルト云フコトデアリマスガ、ソレモ亦郵便貯金ノ利息其儘ヲ融通シテ居ッテ、其費用ハ他ノ方カラ供給ヲ得テ居ッタト同ジヤウニ、是ハ延長サレテ居ルノデアリマスカラ、其點ニ於テハ何等變化ハナイ、尤モ新シク之ヲ借換ヘテ行クト云フコトデアレバ、年三分ノ郵便貯金ニ依ルト云フコトハ、私ハチット過激カ知ラヌガ亂暴ノヤウニ思フ、日本デ郵便貯金ヲ始メタノハ明治七年ニ制定サレタノガ三分、ソレカラ明治八年カラ實行サレテ居ルヤウデアリマス、其一番最初ノ低金利ノ時ニ逆戻リシテ居ル、其位極端ノ利下ヲヤルト云フコトハ、一般低金利政策ノ方針デ行クノダカラ已ムヲ得ヌ、然ラバ銀行ノ方モソレ等ヲ標準ニシタ低利ニシテ行カナケレバナラヌ、

大體今日滯ッテ居ルモノハ、四分八厘當時ニ借りタモノガ多ク、四分二厘當時ニ借りタモノハ割合ニ少ナイト思フ、一分八厘ト云フ利鞘ヲ取ラレルト云ッデモ宜イ、郵便貯金ハ三分ニナッテ行クノデアル、預金部ノ方ハチト不當利得デアルガ、中間据置ヲ三年間スルカ、利子ヲ三分ニ改訂スルカ、此二ツノ途ヲ是非一ツ考慮シテ戴キタイ、ソレデナケレバドウモ如何ニモ時局匡救トシテ、此農村ノ斯ウ云フ産業團體ノ困ッテ居ルモノヲ救済スルト云ッテモ、結論ハ勸業銀行ノ滯貸ヲ巧ク救済シテヤルト云フコトニナッテ、結局資本金擁護ニ歸著スル結果ニナラウト思ヒマス、是ハ預金部ノ方デ運用委員會デ決定シタト云フコトデアルガ、此利息ノ改訂、之ヲヤリ直スト云フコトハ出來マセヌカ、或ハ之ヲ中間据置ト云フコトニ變更スルコトハ出來マセヌカ、其點ニ付テモウ少シ御考慮ヲ願ヒタイ

○黒田大藏次官

將來郵便貯金ノ利下ノ實行サレマシタ後ニ於キマシテ、貸付利率ヲ從來貸シテ居ル部分ニ付テ引下ゲルト云フコトニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り、成ベク之ニ順應致シマシテ、高利率ノモノハ引下ゲテ參リタイト云フ考ヲ持ッテ居ル、然ラバドレ位ニ引下ゲ得ルカト云フ

コトニ付キマシテハ、モウ少シ計算ヲ致シテ見マセヌト云フト、ハッキリ致シマセヌ、只今調査ヲ致シテ居ル、先日モ實ハ預金部委員會が開カレマシタガ、其際ニモ實ハ此次ノ委員會迄ニハ調査ヲシテ、今後ノ貸付ノ利率ニ付キマシテモ、御決議ヲ願フト云フヤウナコトヲ申シタヤウナ次第デアリマス、只今調べテ居リマスガ、大體ニ於キマシテ、從來ノ貸付ノ分モ之ニ順應シテ、成べく引下ゲヨウト云フ考ヲ持テ居リマス、隨テ只今御尋ノコトニ付キマシテモ、十分ニ考慮シテ見ル積リデアリマス、唯茲ニ只今御尋ニナリマシタ六千五百萬圓ニ付キマシテ、利率ヲソレデハ直グ今度ノ三分ニナリマシタノニ應ジテ、三分ナリ或ハ三分何厘ナリニ引下ゲルカト云フコトハ、是ハ一寸困難デアラウト思ヒマス、ト申スノハ先程申シマシタヤウニ、元ノ貸付ノ返スベキ分ヲ延バシテヤルト云フノガ、大體目的デアリマスカラ、大體ニ元ノ貸付ノ利率ガ只今御話ノ四分八厘、四分五厘、四分二厘ニナルト云フコトニナリマスレバ、四分五厘ナリ四分二厘ニ致スト云フコトハ當然デアリマスガ、今度ノ分ダケヲ下ゲルト云フコトハ、ドウモ困難デハナイカト思ヒマス

ソレカラ中間据置ト云フコトデアリマシタガ、是モ却テ中間据置ト云フヨリモ、此分ヲ五年間据置ニシマシテ、後チ年賦償還デ返シマス方ガ、寧ロ負擔ガ、借リマスル方ニ於テ利益デアラウト思ヒマス、又是ガ唯勸業銀行又ハ農工銀行ヲ救済スルト云フノデハナイノデアリマシテ、本年返スベキ分、ソレヲ貸スノデアリマスルカラ、即チ債務者ヲ救済スルト云フ式デアリマス、八割ヲ貸シマシテ、後ノ二割ト云フモノヲ調達シナケレバナラヌコトハ、先程農林大臣カラモ御話ガアリマシテ、御諒承ノヤウデアリマスガ、之ニ付キマシテハ借主ノ方ニ於キマシテ、何トカ資金ヲ調達ヲシナケレバナラヌノデアリマスガ、實際ニ於テ出來ナイト云フ風ナ場合ニ於キマシテハ、是ハ亦勸業銀行ナリ農工銀行ナリニ於テ、相當考慮ヲスルコトデアラウト思ヒマスガ、併シ預金部ト致シマシテハ、全部茲ニ出スト云フコトハ、先程申シマシタヤウニ——農林大臣カラ説明ガアリマシタガ、大體元金ノ償還ヲ猶豫スルト云フ方針デ、出來テ居ルノデアリマス、丁度ソレ等ガ約一億圓位ニナリマスルノデ、六分五厘見當、即チ六千五百萬圓ト云フモノヲ融通サレタノデアリマス、或ハ少ナイモノガアルト云フノデ最高八割迄デアリマスガ、二割ト云フモノハヤハリ

自分ノ力デ以テヤルト云フコトガ、適當デアラウト云フヤウナ委員會ノ見解デアリマシテ、サウ云フ風ニ決メタノデアリマス

○丹下委員 尙ホ伺ッテ置キマスガ、先程利率ヲ上ゲルト云フ場合ニ、從來ト雖モ頗ル困難デアッタト云フヤウナコトヲ承ツタガ、從來低利資金トシテ貸サレタモノデ、中途利息ノ引上ヲヤラナケレバナラヌ必要ノアツタコトガアリマスガ、其點ヲ伺ッテ置キタイ、私ハ恐ラクナイト思ヒマス

○黒田大藏次官 引上ゲタコトハナイ、郵便貯金ノ利子ハ引上ゲラレタコトハ幾度モアリマスガ、是ハ引上ゲタコトハナイト記憶シテ居リマス、若シ間違ヒマシタラ後トデ訂正致シマス

○丹下委員 只今ノ御説明デハ、出來ナイ場合ハ相當ニ農工銀行ナリ勸業銀行デ、考慮スルデアラウト云フ御説明デアリマシタガ、是ハ左様ニ承ッテ置イテ間違ヒハナイデセウカ、是ガ實際ニ於テ借リル場合ニ於テハ、中々ムツカシイ理窟ガアッテ困ル、殊ニ又貸付ノ手續ノ如キハ、先程私ガ申上ゲタ通り、新タナル貸付ノ手續ニ依ルト云フコトニナリマス、個人保證ト云フコトニ付テ、頗ル面倒ナ問題ガ起ッテ來ル、大藏省當局ガサウ云フ方針デアルト云フコ

トデアレバ、此方針デ一ツヤッテ行クヨリ仕方ガナイカモ知レヌガ、實際ニ割ナリ三割ナリ四割ナリト云フモノヲ、返セル力ガアルモノナラバ、無論返シマス、今日滞ッテ居ルノハ實際返セナイ、殊ニ此處デハ耕地ノ問題ハ問題外ト言ハレルカモ知レマセヌガ、耕地整理組合ナドデ低利資金ノ停滯シテ居ルモノハ、先ヅ農林省デ獎勵シタ、即チ國策トシテ獎勵シタ耕地整理ノ事業ガ、動モスレバ設計其他ノ遺漏等デ失敗ニ終ッテ、サウシテ非常ニ今日困難ヲ感ジテ居ルモノガ多イノデアリマス、其數字的ノ計算ヲ御説明スレバ、マア實際限ハアリマセヌガ、サウ云フヤウナモノハ、實際今日二割三割ト云フ償還ガ到底出來ナイカラ、是ハ宜シク當分全額ヲ延期シテヤルト云フ、方針ヲ採ッテ貰フヨリ途ハナイト思ヒマス、ソレニハ新タナル貸付ノ手續ヲシナクテモ、中間据置ト云フモノヲ認メテヤルト云フコトニスレバ——コ、二三年ノ間我慢シテ貰ヘバ、何トカ財界ノ好轉ニ依ッテ解決スル、又米ノ値段モ多少上ッテ來レバ、地方ガ金ガ取レルヤウニナル、サウスレバ無論返スニ相違ナイ、今ノ狀態デハ到底返スコトハ出來ナイカラ借りテ居ル、先程モ債務者ヲ擁護スルト云フノダト言フケレドモ、結局返セ

スノデアルカラ、債權者ノ方ガ困ル、其債
務者ノ方ガ償還ガ出来テ来レバ、結局債權
者擁護ニナル、事實ニ於テ其通りデアリマ
ス、ソレモ結構ダガ、今ノ御説明ニ依ッテ大
體ノコトハ分リマシタガ、實際ニ困難ナモ
ノハ、此際全額ヲ借替サシテヤル、ソレカ
ラ利息ノ點ハ、私ハ今新シク貸スト云フ手
續ヲ執ルト云フ以上ハ、新シイ利息デヤッテ
貰フコトガ當然デアラウト思ヒマス、元ノ
モノヲ延期スルノデアルカラ、元ノ利息デ
宜イト云フコトデアルナラバ、結局郵便貯
金ノ利子ト云フモノハ、全部三分ニ下ゲテ
来ナケレバナラス、何モ政府ノ方ニ損ガ行
ク譯デナイ、茲デ新タニ貸付ケルト云フコ
トニナレバ、三分デ宜イ、是ガ最モ公正デ
アルト思ヒマス、此點ニ付テ一ツモウ少シ
大藏當局トシテ、又農林當局トシテモ、大
藏省ニ伺ッテモウ少シ努力シテ貰ヒタイ、出
来ナイ無理ナ相談デハナイト思フ、實際出
来ナイモノニ付テハ全額ヲ借替ヘルナラバ
已ムヲ得ズ全額ヲヤラシテヤル、サウ云フ
方針デ進ンデ戴キタイ、此點ニ付テ左様ニ
御諒解下サレバ、御答辯ヲ願フ必要モナイ、
大體是位ノ所デ……ソレニ付テ別ニ御説明
ガアリマセヌガ、農林當局ドウデスカ

○樋口委員長 大藏省ノ方ノ御心持ハ、私

ノ方デ聞イテ分ッテ居リマスガ、此法律ハ無
論通過スルモノト思ヒマス、サウスレバ、
直グニ實行サレナケレバナラス、大概案ハ
立ッテ居ラウト思ヒマスガ、モウ少シ打明ケ
テ御答ニナルコトハ出来マセヌカ

○黒田政府委員 丹下君ノ只今ノ御意見
ハ、御意見トシテ拜承致シテ置キマスルガ、
只今ノ事情ハ先程申上ゲマシタ通り、政府
トシマシテ、預金部ノ委員會ノ決議ヲ經マ
シテ、今日實行致シテ居リマスルノハ、今
説明申上ゲタ通り、サウシテ先程申シマシ
タ二割ノモノニ付キマシテ、ドウシテモ自
分デ調達ガ出来ナイト云フモノニ付テ、銀
行ガソレニ何トカシテ呉レルカト云フ念ヲ
押シテノ御尋デゴザイマシタガ、是ハ銀行
ガ致シマススト云フコトヲ、私カラ申上ゲル
コトハ出来ナイノデアリマスケレドモ、實
際ニ於テ債務者ガ返セナイト云フ場合ニ於
テハ、銀行ハドウモ何トシテモ取レナイガ、
斯ウ云フ際デゴザイマスルカラ、餘リ無理
ノ行クヤウナ執行ノ方法ヲシナイヤウニ、
銀行ニハ注意致シテ居リマス、隨テ六千五
百萬圓ノ融資ヲ致サナイヤウナ場合ニ於キ
マシテハ、取レナイモノハ、是ハ全部其債
務者ノ延滞トナッテ残り、債務者ガ延滞ノ利
息ヲ拂ッテモ、負擔ニナル譯デアリマス

ソレハ八割デモ供給ヲ受ケマスレバ、八
割ダケハ返シテ行ケマスルカラ、二割ダケ
ガ延滞ノ形ニ於テ残り、全體ノ延滞ノ形ニ
ナルノガ、二割ダケ延滞ノ結果ニナルノデ
ハナカラウカト考ヘル、銀行ガ何トカスル
ダラウト云フコトヲ、私カラ致シマススト云
フコトヲコ、デ申上ゲルノハ困ル次第デア
リマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス、他ノ
御意見ハ御意見トシテ十分ニ拜承致シテ置
キマス

○栗原委員 關聯シテ極ク簡單デスガ、此
郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲタ結果、支拂フベ
キ利子ノ總額ガ、多少ノ差ハアリマセウガ、
凡ソ三千萬圓見當ト聞イテ居リマスケレド
モ、一番近イ數字ガ御分リニナッテ居リマシ
タラ、承リタイト思ヒマス

○黒田政府委員 御尋ガ何デゴザイマシタ
カ、郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲマシタ結果、
郵便貯金ノ總額ニ對シマシテ、政府ガ支拂
フ郵便貯金ノ利子ト云フノデアリマスカ
○栗原委員 サウデス

○黒田政府委員 ソレハ一寸私茲ニ數字ヲ
持チマセヌガ、調べマシテ分リマシタラ申
上ゲマス

○櫻井委員 償還期限ノ參ッテ居ルノガ約
八千萬圓、其中六千五百萬圓ノ借替ヲスル

ト云フコトデアリマスガ、其借替ノ爲ニ供
給スル資金ト、特融一億圓ト云フモノトハ、
全然別個ノモノデアラウト考ヘマスガ、サ
ウデアリマスカ、ソレガ一點、今一點ハソ
レガ若シ別個ノモノデアル場合ニ於テ、
特融一億圓ヲ出シマシタ場合、其中ノ幾部
分ハ其償還期限ガ来テ居ルモノノ借替資金
ガ不足スル部分ノ方ヘ向イテ行クト云フヤ
ウナコトガ、ナイデアリマセウカ、其二點
ヲ御伺致シマス

○小平政府委員 此借替資金ノ供給ト、特
融資金ノ供給トハ、全然別デアリマス、別
個ノ供給ニナッテ居リマス、ソレカラシテ借
替ノ方ノ不足ノ場合ニ、特融ノ金ガ廻リ得
ルカドウカト云フ御尋デゴザイマスガ、此
特融ノ方ハ固定シタ債權ヲ質入シテ借リル
ト云フコトニナリマス、ソレデ此借替ノ融
通ノ方デ、若シソレガ固定シテ居ラナクナ
レバ、コチラヘ来ナイコトニナルカラ、是ハ
廻リ廻ッテ或ハ兩方有無相通ズルト云フコ
トニナルカモ知レマセヌガ、直接ニハ關係
ハ持ッテ居リマセヌ、廻リ廻ッテ兩方デ資金
ノ緩和ガ出来ルト思ヒマスガ、具體的ニ條
件付デ貸付ケルトカ、條件付デドウナルト
云フコトハ申上ゲラレマセヌ、廻リ廻ッテ相
俟ッテ農村資金ノ緩和ニナルト思ヒマス

○櫻井委員 廻り廻ッテ來ルト云フ御言葉

デアリマスガ、同一人ノモノハ期限ノ來テ居ルモノカラ非常ニ催促ヲ受ケル、ソコデ一方特融デ金ガ拂ヘレバ、先ヅ其急ナモノニ向イテ行クト云フコトニナルカラ、殆ド直接其ノ方ニ廻ルト云フコトニ、實際上サウ云フ風ニナルデヤナイカ、ソレデアルカラ丹下君ノ御質問ニ對シテハ、不明瞭ナ御答ニナル、之ヲハッキリシテ置キタイ、實際トシテ此ノ方カラ特融ヲ受ケテ期限ノ來テ居ルモノハ借替トナッテ、八割ナリ六割ナリ足りナイモノヲ、催促ヲ受ケレバ其ノ方ニ拂ハレルト云フコトニ、實際ハナルデヤナイカト思ヒマスガ、其點ニ對スル見込ガ、モウ少シハッキリ立ッテ居リマセヌカ

○小平政府委員

此計畫ハ大體ニ於テ別個ノ資金ト考ヘテ居リマス、偶、同ジ債務者ガ一方ヨリ一方ヘ來ル場合ニハ、兩方ノ資金デ賄フコトモ出來ヤウト思ヒマスガ、此資金トシテハサウ云フコトハ豫想シテ居リマセヌ、別々ニ行クヤウニ考ヘテ居リマス

○櫻井委員

序デアリマスカラ、モウ一點ダケ御尋シテ置キマスガ、此特融一億圓ト云フモノヲ出ス狙ヒ所ハ、ドウ云フ所ヲ狙ヒニナッテ居リマスカ、是ハ或ハ直ダ又借替ノ方ヘ廻ハサレテ、銀行ニ歸ッテ中央ヘ金ガ

歸ッテ終マフト云フ風ニ見テ居ラレルカ、ソレトモ相當組合ノ運轉資金トシテ、組合ヲ通シテ當業者ノ運轉資金トシテ、地方ニ殘ッテ活躍スル、又ソレヲ循環サセル、活動サセルト云フコトヲ目標ニシテ居ラレルカド

○小平政府委員

御尋ニ對シテ御答致シマスガ、特別融通ノ方ハ、産業組合中央金庫カラ、個々ノ信用組合デ固定シテ居ル其固定貸ノ債權ヲ——個々ノ債權ヲ中央金庫ニ質入シテ、個々ノ信用組合ガ中央金庫カラ特別ニ融資ヲ受ケルコトニナルカラ、此特別融資ノ金ガ必ズ個々ノ信用組合ニ參ルノデゴザイマス、個々ノ信用組合ニ參レバ、ソレハ個々ノ信用組合デハ、其個々ノ組合員ノ固定シテ質權ヲ中央金庫ニ出シテ、其信用組合デ金ヲ借リルコトニナリマスカラ、一面ニ於テハ個々ノ組合員ノ固定ガ緩和サレ、一面ニ於テハ、其組合ニ必ズ資金ガ參リマシテ、其組合ノ流動資金ニナル譯デアリマス、隨テ此特別融通ノ資金ト云フモノハ、必ズ個々ノ産業組合ニ行ッテ、産業組合ノ資金ガ豐富ニナッテ、産業組合ノ活動ガ促サレルコトニナルト思フノデアリマス

○石川委員

今ノ丹下サンノ質問ニ對スル當局ノ御答ニ付テ、多少疑義ヲ有ッテ居リマ

シタガ、モウ一ツ明瞭ニシテ置キタイト思ヒマス、丹下サンヨリノ質問ノ要旨ハ、從來勸銀若クハ此種ノ銀行ヲ通ジテ、低利資金ヲ貸シテアッタ八千何百萬圓ニ對シテ、約八千何百萬圓ノ滞リガ出來テ居ル、此借替ノ爲ニ六千五百萬圓、約八割ヲ借替ヘサセルト云フコト、此借替ニ付テハ利息ハ從前ノ通りデアル、此借替ノ金ト、今回中央金庫特別融通ト云フモノ、一億圓トハ、全ク性質ノ違フモノト諒解シテ宜シイノデセウカ

○小平政府委員

左様デゴザイマス、今度ノ特別融通ノ資金ト云フモノハ、預金部ノ貸付ノ金ニ限ッテ居リマセヌ、寧ロ預金部ノ貸付以外ノ、信用組合ガ自分ノ集メタ貯金ヲ組合員ニ貸付ケテ、ソレガ爲ニ固定シテ居ルト云フ部分ヲ、主トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラシテ一方今度ノ預金部ノ農林關係ノ低利資金ヲ延期スルト云フ方ハ、預金部ノ金ダケニ限ッテ居ル次第デアリマス、自ラ其間ニ資金ハ全然違ッテ居ルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○石川委員

然カ致シマスレバ、此特別融通ノ一億圓ノ大藏省ノ低利資金ノ利率ハ、如何ニナッテ居リマスカ

○小平政府委員

今回特別融通ノ制度ニ

依ッテ、融通シマス低利資金ハ、五分六厘位ニナルコトニナッテ居リマス

○石川委員

五分六厘ガ政府ノ融通スル所デ、中央金庫ハソレニ幾ラカノ手数料ヲ取ッテ、組合ニ出ス譯デアリマスカ

○小平政府委員

左様デゴザイマス、大體五厘位ノ手数料ヲ取ッテ、個々ノ貸付ヲ爲スコトニナル

○石川委員

尙ホ此一億圓ト云フノハ、三年平均デヤル譯デアリマスカ、或ハ七年度ニ於テ幾ラ、八年度ニ於テハ幾ラ、九年度ニ於テハ幾ラト云フコトニ額ガ決ッテ居リマスカ

○小平政府委員

一億圓ノ貸付ノ資金ハ、大體三箇年ニ貸付ケルコトニ豫定シテ居リマスガ、中央金庫ニ於テ、早ク貸付ガ進行スルニ從ッテ、是ハ預金部ニ御願ヒシテ、必要限度ノ資金ヲ出シテ戴キタイヤウニ努力シタイト思ッテ居リマス、差當リハ又七年度ニ於テ、二千五百萬圓位ヲ準備シテ居ルノデアリマス

○石川委員

サウシマスルト、此七年度ニ於テ、各信用組合並ニ聯合會ヨリ、中央會ニ要求スル借入ノ額ガ、二萬五千圓以上ニ達シタ時分ハ、ソレハ大藏省ノ方デ、二萬五千圓以上デモ融通下サル譯デスネ

○黒田大藏次官 融通ノ金額ハ大體一億圓

ト云フ見當ニシテアリマスルガ、本年度分ト致シマシテ、只今政府委員カラ御答申上デマシタヤウニ、預金部トシマシテ、大體二千五百萬圓ヲ融通スルコトニ、此間委員會デ決メマシタ、是ハ三年間ニ一億圓デアリマスルカラ、先ヅ大體本年ハ是カラ七箇月ノ期間デアリマスシ、先ヅ二千五百萬圓ト云フ位デ、大體豫定ヲ致シマシテ、又預金部ノ資金ノ現狀カラ考ヘマシテモ、其程度ガ融通ヲシマス能力ノ上カラ申シテ、都合ガ宜シイト思フ、サウ云フコトニ決メテ居リマス、併シ若シ貸付ガ非常ニ進行シマシテ、殖エルヤウナコトガアリマシタナラバ、預金部トシテ考慮致シタイト考ヘテ居リマス、唯今日ノ資金ノ狀況ニ依ルト困難デアリマシテ、サウ云フ場合ニハ或ハ預金部ガ有ツテ居リマスル公債ヲ賣ルトカ云フヤウナ、色ミナコトヲシナクテハナリマセヌ、何トカ出來ルダケハ考慮シテ、資金ノ需要ニ應ジタイト考ヘテ居リマス

○星島委員 今ノ御説明ニ依リマス、稍

失望ヲ感ズルノデアリマスガ、今回ノ此特別融通ノ前觸デハ、郵便貯金ノ利子ガ下ルカラシテ、ソレニ關聯シテエライ下ルモノト、皆サウ思ッテ居ルガ、現在十月ニナラ

ヌ前ニハ下ッテ居ナイノデアルカラ、直グ九

月カラ假ニ貸出ガアルトシマシテ、直ニソレニ竝行シテ下ルト云フノハ、是ハ無理デアリマスケレドモ、假ニ九月以後ニ於テ利子ガ下ツタ場合ニハ、農林當局ノ先程ノ御言葉デハ、預金部以外ノ金ガ混ッテ居ルト云フコトデアリマシタガ、只今ノ大藏次官ノ御説明ニ依リマスレバ、政府ノ御貸シニナル金ハ、預金部ノ金デアアル、故ニ當然郵便貯金ノ利子ガ下ツタ場合ニ於キマシテハ、先程ノ三分若クハ三分二厘ト云フコトニナッテ、初メテ本當ニ此法律ガ非常時ノ效果ヲ、擧ゲテ來ルノデアリマスガ、五分五厘ト云フモノハ是ハ大變私ハ高イト思フ、四分八厘ノ低利資金ガアルノニ、貸出ノ方デハソレヨリモ高イ五分五厘ト云フコトハ、高イト思フノデアリマスガ、將來大藏當局ト御協議ノ上デ、先刻ノ黒田サンノ御話ノヤウニ、三分若クハ三分二厘迄、是非ハ來ナケレバナラスト思ヒマスガ、其間ニ一抹ノ諒解アリヤ否ヤ、此法律ニ對シテ此特別融通ニ對シマシテハ、特ニ其三分ニ近イ或ハ三分ニスルト云フ所迄來ナケレバ、殆ド此運用ハドウカト思フノデアリマス、如何デアリマスカ

○黒田大藏次官 一般ノ低利資金ニ付キマ

シテ、即チ今日四分二厘デ以テ貸シテ居リ

マスルヤウナ低利資金、即チ今日低利デ色ナ仕事ヲサセルト云フ場合ニ於キマシテ、出シマスルモノニ付キマシテハ、今後三分ニ下リマスレバ、三分二厘ナリ、或ハ三分何厘カ、詰リ三分ニ近イモノヲ以テ貸出スコトノ考ヲ有ツテ居リマス、併シ此今回ノ一億圓ノ融通、竝ニ此不動産ノ方ニ於キマシテ、銀行ニ對シマスル五億圓ノ融通ト云フ風ナモノニ付キマシテハ、是ハ資金ガ固定シ、若クハ不動産ノ資金ガ固定シテ居リマスヤウナモノノ資金ヲ、融通化スルノデアリマス、是ハ普通ノ低利資金ヲ出シマスル場合ト違フノデアリマスカラシテ、普通ノ低利資金ト同ジヤウナ低利ニ下ゲル考ヲ持ッテ居リマセヌ、唯今日ノ預金部ノ保有資金ノ利廻其他カラ考ヘマシテ、五分六厘デ以テ供給ヲスルト云フコトニ致シテ居リマスルケレドモ、是ガ郵便貯金ノ利子ガ下リマスレバ、ソレ等ノ保有資金ノ利廻モモウ少シ下ゲテ宜イト云フ風ナ、計算ガ出デ參リマスレバ、ソレニ應ジマシテ此分ナリ、又今回提案シテ居リマスル銀行ノ方ニ對シマスル不動産貸付ノ分ニ於キマシテモ、相當考慮致シタイ考ヲ持ッテ居リマスルガ、併シ所謂低利資金ニスルト云フコトハ、少シ

性質ガ違フヤウニ考ヘマスノデ、サウ云フ考ヲ持ッテ居リマセヌ

○丹下委員 モウ私此問題ニ付テ多クヲ申

上デマセヌガ、最後ニ私大藏當局ト農林當局ニ一言申上ゲテ置キタイ、只今大藏次官ノ御説明デ行ケバ、銀行ガ必ズシモ全額ヲ融通スル、借替ヲサスト云フコトヲ命ズル譯ニハ行カナイト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、特ニ銀行ニハ注意ヲシヤウト云フコトデアリマシタ、是ハ一ツ十分其點ニ付テハ、銀行當局ヘ出來ル限り全額借替ヲサスヤウニ努力ナスッテ戴キタイ、ソレカラ尙ホ利下或ハ据置ト云フコトニ付テハ、困難デアルト思フガ、出來ルダケ考慮スルト云フ御意見ト拜承シテ居リマス、此點ニ付テ吾々今後大藏當局ニ向ッテ、是非共之ヲ實行シテ戴クベク御相談ヲシナケレバナラス、殊ニ農林當局ニ於キマシテハ、私共ノ只今主張シテ居ル事ニ付テハ、恐ラク御同感デアラウト思フ、マア役所柄トシテ、或ハ大藏當局ニ向ッテ吾々ノ言フヤウナ事ハ言ヘナイカモ知レナイケレドモ、併シ實際農林當局ノ指導獎勵ニ依ッテソコマデ行ッテ、今花ヲ作ラントシテ居ルノヲ救済スルコトデアルカラシテ、モウ少シ農林當局モ大藏當局ニ向ッテ強く要求シテ、此目的ヲ達スルヤウ

ニシテ戴キタイ、大體先程モ申上ゲタヤウニ、今度ノ郵便貯金ノ利下デ、政府ハ約三千六百萬圓ノ利益ヲ收メ、此零細ナ郵便貯金デ一分二厘ノ利下ヲ斷行シテ、サウシテ三千六百萬圓ノ金ヲ浮カスト云フノデアリマスカラ、少々政府トシテハ蟲ノヨイ遣リ方デアルト思フ、此滯納ヲシテ居ル融通資金ノ六千五百萬圓ヲ見テモ、多ク四分八厘ノ時デアルカラ、ソレト比較シテ見ルト約百二十萬圓ト云フモノガ、ソレダケノ借替ヲサスダケデ、不當利得トナルト同時ニ、

銀行ノ方ハ非常ニ便宜ヲ與ヘルト云フコトニナル、三年間ニ約三百六十萬圓ト云フ計算ニナル、斯ウ云フコトデ此時局ノ非常ニ逼迫シテ居ルノヲ匡救スルト云フノハ、是ハ非常ニ遺憾ト思フ、寧ロ相當ニ救済資金ヲ出シテ救済シナケレバナラヌ時ニ、一方デ郵便貯金ノ利下デ三千六百萬圓、消極的ノ増税ト云フヤウナ形ニナル、サウシテ置イテ尙ホ貸付ケタ利息ハ動カサナイデ、ソレニ依ッテモ約百二十萬圓ノ利益ニナル、是ハ將來直シテ戴キタイ、斯ウ云フ事ヲ茲ニ附加ヘテ申上ゲマシテ、私ノ此低利資金ノ借替ニ關スル總括的ノ質問ハ打切りマス、尙ホ日程ニ上ッテ居リマス法案ニ付テノ質問ハ、細カイ事ニ互リマスカラ、餘リ私

一人デ占領シテモ濟ミマセヌカラ、次ノ方ニ御譲リシテ、後ニ適當ノ機會ヲ戴イテ質問シタイト思ヒマス、保留シテ只今ハ是デ打切ッテ置キマス

○磯部委員 低利資金ノ償還ノ事ニ付テ、事務的ノ事ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレハ只今ノ御説明ニ依リマスト、昭和七年ノ償還ニ當ッテ居ルノハ、二割トカ若クハ三割ト云フモノヲ債務者カラ出シテ、アト七割ヲ延バシテヤル、サウスルト又來年はト同ジ手續ヲヤリ、三年ノ間ヤラナケレバナラヌト解シテ宜イカ、或ハ三年間ノヲ引ッ括メテ、今延滞ノ手續ヲシテ、更ニ借替ルト云フコトニシテ宜イカ、其點ヲ一寸伺ヒタイト思ヒマス

○黒田大藏次官 ソレハ御尋ノ通り三年ノ間、來年モ矢張六千五百萬圓新ナ資金ヲ出シ、又再來年モ六千五百萬圓新シイ資金ヲ出スト云フコトニナル、本年一遍ニヤルノデハナイノデス

○磯部委員 サウスルト毎年其煩雜ナ、殆ド出來ナイヤウナ——事務的ニ申シマスト煩雜ナ事ヲ毎年ヤッテ行カナケレバナラヌコトニナッテ行クト思ヒマスガ、例ヘバ三年延バスト假定シマスト、今年モ借替、又來年モ借替、又再來年モ借替ト云フコトニナ

ルト、是ハ殆ド借ルコトノ出來ナイヤウナコトニナリハシナイカト思フノデスガ、其點ハ如何デスカ

○黒田大藏次官 ソレハ一遍ニヤレバ、三遍ニヤルヨリハ便利ダラウト思ヒマスルガ、預金部ノ資金ノ關係ニ於キマシテモ、本年一時ニ二億圓ト云フヤウナ資金ヲ茲ニ出スコトハ困難デアリマス、隨テサウスレバ他ノ方ノ低利資金等ガ、融通ガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマスカラ、ソレハ困難ナデス、又貸付ノ手續ハ却テ此借替トカ云フ風ナ手續ヲシマスヨリモ、此方ガ簡便ノヤウニ自分ハ承知シテ居リマス、銀行等ノ方ニ於キマシテモ、其方ガ簡便デアルト云フコトデ、斯ウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマス

○磯部委員 私斯ウ考ヘマスノデス、左様ナ事ヲ毎年々々ヤルノハ、金ガナケレバ是ハ仕方ガナイ、借りナケレバナラヌケレドモ、左様ナ手續ヲ毎年々々ヤルト云フコトハ、恐ラク出來ナイコトダラウト思フ、今日ハ前ニ借りタ時ノ責任者ト、又産業組合ナドヲヤッテ居ル責任者ガ變ッテ居ル、ソレノ個人ノ判ヲ取ラナケレバナラヌ、ソレハ到底言フベクシテ行ハレナイコトハ言フマデモアリマセヌ、ソレヨリハ私ノ考ヘテ居

リマスノハ、其組合ノ狀態ヲ調べテ、一層三年ニ之ヲ延バス時ハ斷然延バシテ、新ニ今迄ノ前ノ借ヲ借替ヘテ、サウシテ一遍ニ手續ヲシタ方ガ、政府ニ於テモ簡便デアルシ、借りル方ニ於テモ其方ガ宜カラウト思ヒマスガ、其點ニ付テハ如何デスカ、毎年毎年ソナナ手續ヲ五人モ八人モノ判ヲ取ッテヤル、オ役人ガ從前ト變ッテ居ラナケレバマダ宜イケレドモ、變ッテ居レバ全ク煩雜ニナッテ、是ハ全ク厭ガラセノヤウニナルヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデスガ、ソレヨリハ一層眞ニ其組合ノ償還ガ不可能デアルト云フコトヲ御考ヘニナルナラバ、ソレハ相當ノ調べヲシテ、サウシテ斷然三年ナラ三年ト云フモノヲ書替ヘテ、更ニ其資金ヲ融通シタ方ガ整理上ニモ宜イシ、一寸考ヘテ見ルト、丁度銀行ノ整理ノヤウデ、一年々々ニ整理ヲシテ、銀行ヲ綺麗ニスルダケニナッテ、借りタ者ガ非常ナ迷惑デア、其點一寸御伺ヒヲ致シタイト思ヒマス

○黒田大藏次官 三年間繰返シテ致シマスコトハ、差當リ本年ノ償還ノ困難ト云フコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマシテ、サウ云フ事情ガアリマス爲ニ、之ヲ本年ハ延バサナケレバナラヌ、凡ソ三年位ハ矢張斯ウ云フコトヲシナケレバナラヌダラ

ウト云フ豫想ハ致シテ居リマスガ、併シ各借主ニ就テ考ヘマスレバ、必シモ三年間サウ云フコトヲシナイデモ、今年ハ困難デアルガ、來年ハ又都合ガ付クト云フコトモアラウト思ヒマス、又來年ハ都合ガ付カナイデモ、再來年ハ都合ガ付ク、成ベクナラバ返セルモノハ返シタ方ガ利益デアリマス、先程モ誰方カラ言ハレマシタケレドモ、今度ノ分ガ三分ナリ、三分五厘ト云フ程度ナラバ、或ハ借リタ方ガ得ダト云フコトモ生ジテ來ルカモ知レマセスケレドモ、併シ前ト同ジ利率デ、詰リ前ノ分ガ延バサレルト云フ結果ト同ジニナルノデアリマスカラ、返サレルモノハ返シテ置イタ方ガ、後ニ負擔ガ殘ラヌノデアリマスカラ、成ベク返セルモノハ返スコトガ望マシイノデアリマス、又債務者ニ取ツテモ利益デアリマス、必シモ債務ハ全部三年間ハ延バサレルデアラウト云フコトヲ、想像スルコトモ出來ナイノデアリマス、併シ大體ノ見當ガ先ヅ三年間ハ同ジコトヲ繰返サナケレバナラヌデアラウト云フ腹ヲ以テ、本年度ノ分ヲ決定シタノデアリマス、ソコデ纏メテ三年延バスト云フコトハ、如何カト考ヘルノデアリマス、併シソレデハ今年中ニ返サナケレバソレヲ延期シテ置イテ、サウシテ三箇年纏ツタ

後ニ、斯ウ云フコトヲシタラ宜イデヤナйкаト云フ御意見デアラウト思ヒマスガ、ソレハ先程モ申シマシタ通り、今年ノ分ハ今年新式ニ依テ返シ、後ヲ五箇年据置イテ、サウシテ長期ノ年賦ニスル方ガ、却テ債務者ノ方ガ負擔ノ整理ヲ致シマス上ニ於テモ便利デアリマス、唯延ビテドウ云フ風ニナルカ、ソコハ分ラナイ、延滞シテ居ルト云フヨリモ、都合ガ好カラウト考ヘルノデアリマス、手數ヲ三遍繰返スト云フコトガ煩雜デアルト云フコトハ、仰セノ通り一度ノ方ガ便利デアラウト思ヒマスガ、是ハ預金部ノ資金ノ關係カラ申シマシテモ、茲ニ二億圓ヲ今直グ出スト云フコトハ困難デアリマス、差當リ本年度分ダケト云フコトデ、決定ヲ致シタ次第デアリマス

○磯部委員 只今申シマシタヤウニ、ソレハ借リテル者ガ仰セラレルヤウニアレバ、ソレハ二割デモ三割デモ、全額デモ返スノデアリマスガ、此際ハドウスルコトモ出來ナイヤウナ債務者ガアルトスルト、ソレハ私ハ其點ハ甚ダ困ル、ソレヨリハ寧ロサウ云フ實情ガ分リマスレバ、斷然希望ガアレバ延期スル、斯ウ云フコトノ方ガ、時局ヲ匡救スル上ニ於テモ意義モ有ルト思ヒマス、又毎年々々煩雜ナ手數ヲ掛ケテヤルト云フコトハ、非常ニ債務者ヲ苦シメルト云フヤウナコトニナリハセヌカト考ヘルノデアリマス、是ハ私ノ考デアリマス、是デ質問ハ打切りマス

○畑委員 一寸議事進行ニ付テ——一寸參考書ヲ先ニ出シテ戴キタイト云フコトデ——私ハ此産業組合法改正ニ關シマシテ、各責任別ニ致シマシタ組合數、及人員、出資口數竝ニ金額等ヲ知ル所ノ表ヲ、戴キタイト思ヒマス、尙ホ法第二條ノ第一項但書ニ該當スル組合數ト、組合人員、出資口數竝金額トヲ區別シテ戴キタイト思ヒマス、之ヲ農林當局ニ要求致シマス

○小平政府委員 今統計ノ材料デ御尋ノヤウデゴザイマスカラ、後刻統計ヲ揃ヘテ差上ゲタイト思ッテ居リマス

○石川委員 今ノニ關聯シテ、モウ少シ御尋シタイト思ヒマス、預金部ヨリ融通サレテ居ル最近ノ利子ハ、從前通リト云フコトヲ御答ヘニナッテ居ツタガ、預金部ヨリ融通シテヤル金ノ利子ハ、何分ニナッテ居リマスカ

○黒田大藏次官 只今御尋ニナリマシタノハ、先程御尋ノアリマシタ六千五百萬圓ノ問題デアリマスカ

○石川委員 左様デアリマス

○黒田大藏次官 ソレハ元ノ貸付ガ四分八厘デアリマスレバ四分八厘、五分二厘デアリマスレバ五分二厘、四分五厘デアリマスレバ四分五厘ト云フヤウニ、元ノ貸付ケテアルモノト同ジ率ニ致シマス

○石川委員 預金部ノ貸付ハ大凡四分八厘位ト思ヒマス、今回特ニ財界ノ現狀ニ鑑ミテ、信用組合聯合會ナドニ低利資金ヲ融通セシメル、所謂救済スルト云フ意味ニ於テ、政府ノ低利資金ヲ融通サレル、其低利資金ト云フモノノ利率ハ五分六厘、而シテ組合若クハ聯合會ノ手渡シニナルモノガ六分一厘ト云フノハ、既ニ低利ト云フ名ヲ付ケラレヌヤウニナッテ居リマス、寧ロ今日郵便貯金ガ三分ト云フコトニナッテ居ル以上ハ、四分以內ノ利率デ貸付ケルノガ眞ニ救済ノ目的ヲ達スル所謂低利資金デアル、然ルニ六分一厘ト云フヤウナ利率ヲ附シテ貸付ケルト云フコトハ、是ハ洵ニ低利資金ト云フ名ハ付ケラレヌヤウニ吾々ハ考ヘマスガ、農林省竝ニ大藏省デハ、ドウシテモ五分六厘ノ利子ヲ付ケナケレバナラヌカ、尙又産業組合ガ手渡シシテ居ル所ノ利率ハ六分一厘デアル、是ハ寧ロ低利ト云フヨリモ今日ノ場合高利ト言ッテ差支ヘナイノデハナイカト思ッテ居リマス、之ニ對スル所感ヲ御願ヒ

致シマス

○黒田大藏次官 今度ノ一億圓ノ融通、竝ニ是ト關聯シテ居リマス銀行ノ不動産貸付ニ對シマス融通ニ付キマシテハ、必ズシモ低利資金ト云フコトハ申シテ居リマセヌノデアリマス、是ハ銀行ニ於キマシテハ不動産ニ貸付ケマシテ、資金ガ固定ヲシテ居ル、地方ニ其爲ニ銀行ガ貸出シマス所ノ必要ナル資金ガナイ、或ハ預金ノ支拂ヲスルノニ資金ガ不足スルト云フコトデ、非常ニ金ガ十分ニ行渡ラナイ、滑カニ行カナイ、又産業組合ニ付キマシテモ産業組合ノ貸付ガ固定致シマシテ、運轉資金ノ潤渴ヲ來シテ居ルト云フ風ナ狀況ヲ救済ヲシテ、産業組合ナリ銀行ナリニ資金ノ融通ヲ圓滑ニスルト云フコトガ、目的ナノデアリマス、必シモ低利ノ資金ヲ供給シテ救済ショウト云フ意味デハナイノデアリマスカラ、必シモ之ヲ低利資金ト申スコトハ出來ナイノデアリマスシ、又吾ミモ低利資金ト申シテ居リマセヌ、唯今日マデ預金部ノ資金デ、銀行ニ對シマシテハ御承知ノ通り大體二億圓ヲ供給スル豫定デ、差當リ五千萬圓ヲ決定致シテ居リマス、是ハ實ハ八分デハ銀行ニ貸スコトニシテ居リマスガ、八分デハ如何ニモ少シ高過ギルノデアリマス、隨テ銀行ノ方ノ

借りマス事ヲ躊躇サセルヤウナ狀況モアルノデアリマスカラ、出來ルダケ安クシタイト云フコトデ、銀行ニ付テハ六分二厘、産業組合ニ付テハ六分一厘デ融通スル、斯ウシマスレバ高イトハ申サレナイ、勿論低利資金デハアリマセヌガ、高イトハ申サレナイ、適當デアラウト考ヘタノデアリマス、五分六厘ト申シマスノハ先程來説明申上ゲマシタ通り、低利資金ノ融通ハ別デアリマスガ、其他ノ預金部ノ資金ノ運用利廻ガ、大體五分六厘ニナッテ居リマスノデ、其運用利廻デ貸スコトニシタノデアリマス、併シ是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、郵便貯金ノ利子ガ下リマシテ——丹下サンカラモ御話ガアリマシタガ、預金部ハ決シテ之ニ依ッテ儲ケヨウ、不當ノ利得ヲショウト云フコトハ毛頭考ヘテ居ラナイノデアリマス、郵便貯金ノ利下ニナリマシタ結果、運用利廻等ガ低下シテ參リマスレバ、又此融通ニ付テモ相當考慮シタイ考ヲ持ッテ居リマス、併シドレ程ニナルカ、又ドレ位下ゲ得ルカト云フコトハ、マダ調査ガ完了致シマセヌノデ、申上ゲルコトガ出來マセヌ、重ネテ申上ゲマシガ、是ハ必シモ低利資金トハ申サナイノデアリマス

○石川委員 此補償法ニモ低利資金ト云フ

事ハ別ニ書イテナイ、併ナガラ大藏次官ガ御出席ニナラナイ前ニ、農林大臣ハ、一億圓ノ大藏省ヨリノ低利資金ヲ融通スルト云フ提案ノ説明ヲサレタ、ソレ故ニ吾ミハ低利資金ノ融通ヲサレルモノト考ヘテ居ッタ、ソレニ依ッテ利率ヲ御尋シタ所ガ、組合ノ出スベキ利率ハ六分一厘ト云フコトデアラカラ、是ハ決シテ低利デナイト云フ感ジヲ起シタノデアリマス、唯固定資金ノ融通化ト云フダケナラバ已ムヲ得ヌカモ知レマセヌ、中央金庫ノ特別融通ニ付テハ其程度ニ止メマシテ、産業組合ノ改正法律案ニ付テ御伺ヒ致シタイ

第一ニ、産業組合ガ有限、保證、無限ト三ツニナッテ居ルノヲ、保證責任ト無限責任トニ變更スルト云フ案ヲ出サレテ居リマス、吾ミ農村ノ實狀ヲ見マスルト、所謂有産階級ト無産階級ト有無相通ズル意味ニ於テ産業組合ガ成立ッテ居ル、又信用組合ノ資金關係等モソレニ依ッテ捻出サレテ居ル、此場合ニ有限責任ヲ廢シテ保證、無限ト云フコトニ變更スルコトニナレバ、有産階級ノ組合員ガ漸次脫退スルコトニナリ、隨テ殘ッタ組合員ハ其素質ヲ低下スルコトニナル、隨テ産業組合ノ本當ノ精神ヲ發揮スル事ガ出來ナイヤウニナリハセヌカト云フ虞

ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル農林省ノ御考ハ如何デスカ、一應御尋ネシマス

○小平政府委員 御尋ノ點ハ、此際有限責任ヲ保證責任ニ變更スレバ、農村ノ組合デハ有産階級ノ組合員ガ脫退スル虞ハナイカト云フ御尋ノヤウデアリマスガ、本來産業組合、殊ニ農村ノ産業組合ハ、村民ガ一致シテ隣保共助ノ精神ニ依ッテ、殊ニ相互扶助ノ産業組合ノ本當ノ精神ニ依ッテ設立サレルモノデアッテ、ソレニ依ッテ初メテ産業組合ノ機能ガ十分發揮サレルノデアリマス、隨テ其相互扶助ノ産業組合本來ノ機能カラ申シマスレバ、組合員ハ何處マデモ責任ヲ負フベキモノデアリマス、隨テ有限責任ハ産業組合トシテハ本來カラ申セバ、寧ロ認メナイ方ガ宜カッタ制度デアルヤウニ考ヘラレマスノデ、産業組合ノ機能ガ十分發揮スル、殊ニ農村ノヤウナ地方ニ於ケル産業組合ヲ十分活動サセルニハ、其信用限度ト云フモノヲ、ドウシテモ擴張セネバナラヌノデアリマス、信用限度ヲ擴張スルニハ、諸種ノ方法モアリマスケレドモ、本來産業組合ハ信用ニ依ッテ成立ツモノデアリマス、又今日農村不況ノ際、出資ノ増加ト云フ事ハ困難デアリマスカラ、寧ロ産業組合本來

ノ機能ニ基キマシテ、保證責任ニ變更スルト云フコトノ方ガ、産業組合ノ信用限度ヲ擴張シ、此際特ニ機能ヲ發揮サセル所以ニナルカト考ヘマシテ、此際思切ッテ有限責任ヲヤメテ、保證責任以上ニシタイト云フ考デアリマス

又産業組合自身カラ考ヘマシテモ、農村ノ有産階級ガ逃ゲルト申シマスケレドモ、是ハ保證ノ限度モサウ不當ナル限度ヲ認メル譯デハアリマセヌ、出資額位ノ保證限度ヲ認メルデアリマス、寧ロ組合員ガ全部責任ヲ負フコトニシタ方ガ、産業組合ノ從來ノ當事者、又産業組合ニ入ッテ居ル相當資産ヲ持ッテ居ル者モ、總テノ組合員ガ保證責任ヲ負フコトニナレバ、却テ産業組合ノ全員一致デ、總テノ責任ヲ負フコトニナリマシテ、却ッテ從來ヨリハ或ル少數ノ部分ニ不安ガ來ルヤウナ事ガナクナッテ、却ッテ安心出來ルデハナカラウカト考ヘラレルノデアリマス、殊ニ此保證責任ト云フノハ、愈産業組合ガ立行カナイヤウナ場合ニ於テ生ズル責任デアリマシテ、其場合ニ於キマシテハ、農村トシマシテハ從來ヤハリ組合員ノ主ナル者ガ責任ヲ負ハネバナラヌコトニ、事實上ナッテ居ルノデアリマス、殊ニ有限責任デアル關係上、金融機關トシテハ常ニ

相當ノ個人保證ヲ要求シマス、或ハ理事者ノ個人ノ保證ヲ要求シ、ソレガナケレバ資金ガ貸出サレナイト云フヤウナ事情ニアルノデアリマシテ、寧ロ此際ソレヲ保證責任ニ變ヘマスト云フト、ソレ等ノ今迄ノサウ云フ責任ヲ個人的ニヤッタ關係ヨリ、大分輕クナッテ來ルヤウニ思ハレルノデアリマス、又農村ニ於キマシテハ、本來隣保共助ノ精神デ出來テ居ルモノデアリマシテ、資産ハ持ッテナイデモ所謂正直ヲ資本化スルト云ヒマスガ、サウ云フ觀念デ出來テ居ルノデアリマスカラ、將來ニ互ッテ保證責任ノ組合ヲ作ルナラバ、其組合ノ中ノ或ル少數ノ者ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌヤウナ場合ニ於テハ、寧ロ全組合ガ責任ヲ負ヒマスカラ、從來ヨリハ肩ガ非常ニ輕クナルト云フコトニ考ヘラレマスノデ、斯ウ云フ制度ニ變更シテモ、寧ロ組合ヲ發達サセルコトニナルト考ヘルノデアリマシテ、産業組合ガソレニ依ッテ發達シナイヤウナコトニハナラナイト云フ確信ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、又其制度ガ出來マスト同時ニ、産業組合ノ精神ヲ篤ト普及サセル爲ニ、特ニ今回産業組合ノ思想宣傳ニ關スル特別ノ經費ヲ、豫算ニ計上シテ居ルヤウナ次第デアリマス、其豫算ニ依ッテ中央會ヲシテ、又各地方ノ支

會ヲシテ特ニ此際産業組合ノ精神ノ普及ニ大ニ努メシメマシテ、此目的ヲ達スルヤウニシタイト思フノデアリマス、從來産業組合ニ金ガ出ナイト云フ非常ナ非難ガアリマシタ、ソレハ産業組合ノ各自ノ信用ガ少イノデ、サウ云フ非難ガ起ッテ居ルノデアリマスガ、將來或ル期間ニ總テ保證責任以上ノ組合ニナルコトニナリマスレバ、相當信用ガ増シマス、而モ其組合員ノ有産階級ノモノノミガ責任ヲ負フト云フコトデナクナリマシテ、總テノ組合員ガ一致シテ責任ヲ負フト云フコトニナリマス關係上、從來ヨリモ資金ノ融通ガ相當圓滿ニ出來ルヤウニ考ヘラレマス、隨テ此改正ニ依ッテ産業組合ガ益、其機能ヲ發揮シ、事業ヲ擴張スルコトガ出來ルヤウニ考ヘマス、之ニ依ッテ續々組合員ガ脱退シ、組合ガ却ッテ衰退スルト云フヤウナコトハ、毛頭考ヘテ居ラヌノデアリマス、左様御承知願ヒマス

○石川委員 今御答辯ヲ聽キマスト、組織ヲ變更シタ方ガ寧ロ組合ノ信用ヲ増加シテ、將來圓滿ニ發達スルト云フヤウナ御答デアリマシタ、私共ノ實際職務ヲ執ッテ居ル者カラ申シマスレバ、今ノ御答ハ寧ロ机上ノ空論デハナイカト思フノデアリマス、全國ノ統計ハ勿論存ジマセヌガ、我が佐賀縣

邊リデ現在ノ狀況ヲ見マスト云フト、設立當時ニ於テハ矢張り隣保相助ケルト云フ意味ニ於テ、寧ロ有産階級ノ人ガ進ンデ此設立ニ應ジタ、而シテ第一回アタリデハ、其役員モ主トシテ有産階級ノ人ガ勤メタノデアリマス、併ナガラ資金ノ融通ガ不十分デアリ、ソレガ爲ニ聯合會若クハ中央金庫ヨリ資金ノ融通ヲ仰グト云フコトニナリマスルト、總テ理事、幹事、其他役員ノ連帶ノ個人保證ヲシナケレバナラヌト云フコトニナル、個人ノ連帶保證ヲシナケレバ融通ヲ仰グコトガ出來ナイト云フコトニナル、サウスルト云フト若シ萬一組合ガ完全ニ契約ヲシマシテ、其支拂ヲ完ウスルコトガ出來ナイ場合、詰リ其役員ハ組合ニ代ッテ自分ノ私財ヲ以テ支拂ヲシナケレバナラヌト云フコトニナッテ來ル、斯ノ如ク産業組合進歩ノ爲トハ云ヒナガラ、自分ガ私財ヲ提供シテ元金ノ支拂ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、ドウモ受取り難イコトデアル、斯ウ云フヤウナ意味カラ漸次有産階級ノ人ハ役員ニナルコトヲ忌ムヤウニナル、段々矢張資産ハ無ク、唯口ノ人、腕ノ人ト云フ者ガ、漸次産業組合ノ首腦部ニナッテ來ル、隨テ聯合會並ニ中央會等ニ對シテハ、益々信用ハ少クナル、斯ウ云フ風ナ狀態ニナリ

ツ、アル此際ニ於テ、更ニ之ガ無限責任若クハ保證責任ト云フコトニナツタナラバ、益々有産階級ノ組合員ハ脱退スルヤウナコトニ移ッテ來ル、多少ニシテモ組合ニ貯金ヲシ能フ者ハ總テ脱退シテシマフ、サウシテ組合カラ借入ヲシナケレバナラヌ者ノミガ殘ルト云フコトニナツテ、殆ド産業組合ノ貸金ト云フモノハ、政府ノ資金ヲ仰ガネバ將來立チ行カヌト云フコトニナリハシナイカト云フ私ハ憂フ有ッテ居ル、ドウモ農林省ノ今ノ御提案ハ、唯机上ニ於テ理論的ニノミ御考ヘニナツタノデハアルマイカト思フ、更ニ此點ニ付テ今一段ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小平政府委員 御答致シマスガ、御質問ノヤウナ地方ノ組合ニ於キマシテハ、理事者ガ從來私財ヲ提供シテ個人保證ヲスルコトニナツタガ爲ニ、理事者ガ段々組合ヲ嫌ニナツタト云フヤウナ實例カラシテ、御意見ヲ御述ニナツテ居ルヤウデス、其點ガ今私ガ申上ゲタ肝腎ノ點デアリマス、從來ハ組合員ノ或ル一部分ノ有産者ノミガ責任ヲ負ヒマシテ、他ノ者ハ單純ナル五圓カ十圓位拂込ム有限責任デアッタガ爲ニ、有産者タル組合員ガ非常ナ迷惑ヲ蒙ッタノデアリマス、又金ヲ中央金庫デ貸ス場合ニ於キマシテモ、組

合員ノ多數ノ者ハ簡單ナ有限責任デ、後ハ責任ヲ負ハナイカラ、有産者タル組合員ニ個人保證ヲ取ラセルノデアリマスガ、ソレガ保證責任ニナリマスレバ、組合員ガ全部出資以外ニ一定限度ノ責任ヲ負フコトニナリマスカラ、從來トハ違ッテ、組合員ノ理事者、其他理事者ニ交代シテ爲ルヤウナ有産家ノ組合員ガ、個人保證ヲシナイデモ宜イ、私財ヲ提供シナイデモ宜イコトニナリマスカラ、寧ロ從來ヨリハ責任ガ輕クナリ、責任ヲ全組合員ニ負ハセルヤウニナリマスカラ、却ッテ御述ベノ事情ヨリモ反對ノ現象ガ起キテ來テ、所謂個人保證ヲ取ルガ爲ニ、組合ノ理事者ガ迷惑ヲ被ルト云フヤウナ點ガ、段々輕クナルヤウニ確信シテ居ル次第デアリマス、御述ベノ點ハ此改正ニ依ッテ從來ヨリモ反對ノ結果ニナツテ、理事者ガ無暗ニ私財ヲ提供シナクテモ済ムヤウニナリマスカラ、進ンデ組合ニ加入シ、殘ッテ居ッテモ宜イト云フ結果ニナルヤウニ考ヘラレルノデアリマス

○石川委員 今ノ點ニ付キマシテハ、將來ノ事デアッテ、私ノ意見ト農林當局ノ意見ト相違スルノデアリマスガ、是レ以上議論シタ所デ到底盡キル所ガナイト思ヒマスカラ、是デ私ノ質問ハ打切りマス

○畑委員 此質問ニ關聯シテ居リマスカラ……私ハ明治四十年頃カラ産業組合ニ關係ヲ有ッテ居リマスガ、農商務省ノ此信用組合竝ニ各種ノ産業組合ヲ御獎勵ナサレル當初ハ、先進國ノ丁抹アタリニ見習ッテ爲サレマシタケレドモ、併ナガラ我國ノ國情カラ案ジマシテ、全部無限責任トカ云フコトハイカス、又全ク國民ガ自覺シテ各、鄰保相助ノ精神カラ行キマスルナラバ、或ハ有限責任デモ結構ダケレドモ、何レニシテモ一長一短デアルカラ、先ヅ以テ保證責任ト云フコトヲ一ツ標準トシテ、産業組合ヲ獎勵シヤウト云フ御方針ノ下ニ、一時ハ非常ニ保證責任組合ト云フモノガ出來タノデス、所ガソレハ非常ニ其地方ニ先覺者ガアリマシテ、巧ク指導致シマシタカラ、漸クニシテ或一定ノ數ハ出來マシタ、併ナガラ之ヲ全國的ニ普及スルニハ、ドウシテモイケンイト云フ所カラ、有限責任ノ方ニ變ヘテモ行カウト云フ御方針ニ變ッテ、ソレカラ段段我國ノ産業組合ト云フモノハ發達シタノデアリマス、此只今配付サレマシタ材料ニ依リマス、有限責任組合ハ全組合ノ九十二パーセント「一」ヲ占メテ居ル、ソレカラ

無限責任ノ如キハ七「パーセント」三、保證責任ノ如キハ僅ニ「一」パーセント「六」デアリマス、此實況カラ考ヘマシテモ、私ハ只今前質問者ノ如ク、是ヲ直チニ或ハ保證責任等ニ引直スト云フコトハ、容易ナラヌ問題デアルト思フ、サウナツテ來マスルト云フト、前者ノ御述ベニナリマシタ如ク、中産階級ガ有限責任ナラ入ッテ、共ニ勸メラレル儘ニ加入シテヤラウ、又貯金ヲスルニモ便利デアルカラト云フヤウナ意味合カラ、入ッテ居リマスケレドモ、此處ニ一度保證責任ト云フコトニナリマシタ場合ニハ、サウ窮屈ナ責任ノ掛カルヤウナ方ニハ、先ヅ入ラナクテモ宜イト云フヤウナ事デ、此組織變更ノ場合ニ、脱退者ガ益々殖エテ來ルト云フコトニナリマス、組合ノ存続ニマデ影響スル非常ナル問題ヲ起スノデヤナカラウカト考ヘマス、故ニ私ハ寧ロ色々獎勵トカ何トカ、是マデサレマシタヤウナ風ニ、或ハ上級組合、或ハ官廳方面カラ唯官吏ガ出張シテ、講演ヲスルト云フヤウナコトヲシマシテモ、ソレハ其效果ガナカラウト思フ、是ニ於テ私ハ政府ニ御尋ネスルノハ、強制加入竝ニ脱退防止ニ關スル規定ヲ設ケラレル御意思ハナイカ、此位ノ規定ガナケレバ、私ハ此法ノ改正ノ實際ノ目的ヲ達スルコトハ不可能デアルト思フ、國民ガ自覺シテ此組合發達ノ爲ニオ互ノ經濟向上ノ爲ニ、殆

ド自分ヲ犠牲ニシ、鄰保相助ノ精神ニ立脚シマスレバ宜シイケレドモ、今日ノマダ一般國民ノ狀態カラ見マシテモ、又ワケテ今日財務ニ逐ハレテ居ル組合ガ多イノデアリマス、ソウ云フ組合ヲ今日匡救ヲシナケレバナラスト云フ時ニ、保證責任ニ組合ノ責任ヲ轉換スルト云フコトハ、中々容易ナラヌ問題デアリマシテ、一面斯ウ云フコトモ考ヘラレル、政府ノ低利資金其他ヲ貸出ス爲ニ、特ニ斯ウ云フヤウナ法ノ改正ヲ爲サルノデアアル、貸出ス方ノ債權者ノ便宜ノ爲ニ、此改正ヲ爲サルト云フ結果ニナル、斯ウ云フ議論モ立チ得ルノデアリマス、故ニ私共ハ色々組合ノ責任ノ更改ニ付キマシテハ、前者ノ御述ベニナリマシタヤウニ、非常ナ玆ニ實際問題トシテハ、深憂ニ堪ヘナイ點ガアリマス、故ニ私ハ強制加入、脱退防止ニ關スル規定ヲ御設ケニナル御意思ハナイカ、若シ之ガナケレバ此改正法規ト云フモノハ、組合ノ所謂發達助長ヲ却テ妨ゲルヤウナ結果ニ終リハシナイカト思フノデアリマス、當局ノ御意見ヲ伺ヒマス

○小平政府委員 脱退、加入ノ制限ヲ設ケル意思アリヤ否ヤト云フ御質問デアリマスガ、産業組合ハサウ云フ脱退加入ヲ法律ヲ以テ強制スルト云フヤウナ、組織團體デア

リマセヌ、一定ノ出資ヲシ、或ハ保證責任ナリ無限責任ナリノ團體デ、而モ事業團體デアリマスカラ、脱退加入ノ制限ヲ設ケルコトハ、是ハ本來ノ性質上出來ナイノデアリマス、隨テサウ云フコトヲ考ヘタコトハアリマセヌ、併シ有限責任ヲ保證責任ニ變ヘタダケデ、今マデヨリハ全組合員ガ責任ヲ負フト云フノデ、脱退スルト云フ、サウ云フ人ハ少シハアルカモ知レマセヌガ、多數ノ者ガサウ云フコトニナルトハ考ヘテ居リマセヌ、殊ニ農村ノ不況對策ニ於キマシテハ、農民ガ總テ共同一致シテヤラナケレバ、此窮乏ヲ切抜ケルコトガ出來ナイ、隨テ今マデ出資シテ居ル者モ、更ニ同額位ノ保證ヲ最後ニ組合ガ潰レル時ニ負フト云フ位デ以テ、農村ノ今マデノヤウナ日本ノ産業組合ガ發達シテ來タ其基礎ガ、搖グモノトハ決シテ考ヘテ居リマセヌ、或ハ少數ノ人ガ極ク旋毛ノ曲ツタ人ハ、ソシナコトヲ口實ニシテ脱退スルコトガアルカモ知レマセヌガ、苟モ農村ニ於テ産業組合ニ立籠ッテ、農村ノ振興ヲ圖ラウト云フ場合ニ於テハ、サウ云フコトハアルマイト思フ、又政府ニ於テハサウ云フコトガナイヤウニ、此際ハ三年間ノ猶豫期間ガアリマスカラ、極力其間ニ宣傳シ獎勵シ、督勵シタイト思フノ

デアリマス、其點ハ御意見ノヤウナ心配ノ點ハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラシテ又債權者ノ便利ニナル改正デアルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ債權者ノ便利ト云フコトハナイノデアリマス、寧ろ組合員ノ中ノ有産階級ガ、最後ニ組合ガ潰レル時ニハ、私財ヲ提供シナケレバナラスノデアリマスカラ、ソレハ産業組合ノ本旨ニ適ハナイカラ、此際組合員全員デ、出資以外ニ僅カナガラ、一定ノ金額ノ保證ヲサセタ方ガ宜カラウト云フダケデアリマス、之ガ爲ニ何モ貸ス方ガ便利ニナルト云フノデハナイ、寧ろ産業組合中央金庫ハ、有産階級ヲシテ個人保證ヲ取ツタ方ガ、貸出ハ樂カモ知レナイ、併シ農林省トシテハ中央金庫ガ從來個人保證ヲ取り、組合員ノ或ルモノノ相當有産階級ノ者ノ保證ガナケレバ、金ヲ貸サヌト云フ此制度ガ、産業組合金融ノ本旨カラ言ヘバ、誤ッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ寧ろ中央金庫ハ嫌ガッテモ、此保證ヲ附ケテ、今マデノヤウナ個人保證ヲ取ラセヌヤウニ中央金庫ヲ督勵シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデ、金ヲ貸ス方ニ便利ノ爲ニ考ヘタ改正デアリマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○野中委員 今政府委員ノ御答辯ニ依リマ

スト云フト、此新法令ガ施行サレルト云フ根本ノ理由ハ、組合ノ信用ヲ増スガ爲ニ保證又ハ無限ノ責任ノ組合ニシナケレバナラスト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、私ハ今前委員ガ申サレタヤウニ、數字ガ私共ニ最モ明ナ例ヲ示シテ居ルモノデハナカラウガト思フ、是ハ政府カラ貰ヒマシタ參考書デアリマスカラ、間違ハナイト信ジマスガ、此處ニアリマス數字ノ通り、明治三十八年ニ於キマシテハ有限責任組合ハ五百九十ゴザイマシタガ、漸次増加ノ傾向ヲ採リマシテ、昭和六年ニハ二萬二千九百十トナッテ居リマス、斯ウ云フ風ニ有限責任組合ハ増加シタニ拘ラズ、無限責任組合ハ明治三十八年ニ於テハ九百五十七、大正四年ニハ二千八百四十三、一時ハ増加致シマシタガ、今日ニ於キマシテハ昭和六年ニハ一千三十三ト、一寸三倍ノ減少ヲ呈シテ居リマス、又保證責任組合モ初メハ十四デアリマシタガ、後ニハ二百七十七ト云フ増加ヲ致シマシテ、其後ニ又減少ヲ致シマシテ、二百十三ト斯ウ云フ風ニ數字的に減少シテ居リマス、此事實ハ私共ニ言ハセレバ、其無限責任組合竝ニ保證責任組合ノ缺點ヲ現シタモノデハナカラウカ、即チ此産業組合ノ信用ノ程度如何ト云フノハ、組織其物ニ非ズシ

テ、寧ロ之ヲ運用スル人ノ如何ニ依ルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、例ヘバ私ハ埼玉縣デアリマスガ、埼玉縣ニ於ケル有限責任信用組合ニ於キマシテモ、可ナリ優秀ナル成績ヲ擧ゲテ居ル、例ヘバ南埼玉郡潮止村ノ有限責任組合ノ如キハ、明治三十八年ノ設立デゴザイマスガ、洵ニ其内容ガ充實ヲ致シマシテ、殆ド今日ニ於キマシテハ、模範トモ申スベキヤウナ情勢デゴザイマシテ、大正五年ニハ産業組合中央會カラ特別表彰ヲ受ケテ居リマス、又一面ニ於キマシテ無限責任組合デアリマシテモ、或ハ兒玉郡ノ若泉ノ無限責任信用組合ノ如キハ明治三十九年ニ七十人ヲ以テ設立ヲ致シマシタガ、今日ニ於キマシテハ脱退者ガ續出シマシテ十數名ニナリマシテ、遂ニハ大正十四年ニ解散シマシテ、目下清算中ノ状態デアリマス、斯ウ云フ風ニ産業組合ノ信用程度如何ト云フノハ、組織如何ニ非ズシテ寧ロ人ニアルノデハナイカ、若シ人ニアルトスレバ私共ニ言ハセルナラバ、此無限責任組合或ハ保證責任組合ト云フモノモ、決シテ是ガ最上ノ方法デハナクシテ、寧ロ他ニモツト缺陷ヲ除去スベキ點ガアルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、ソレデ殊ニ此有限責任組合ガ保證責任組合

ニナリマシタ時ニハ、政府ノ原案ニ依リマスト云フト、大體二倍ノ保證デ十分ナヤウデアリマシタガ、併ナガラ二倍ノ保證ヲ以テ果シテ信用組合ノ信用ヲ維持スルコトガ出來ルカドウカ、大分誇張スル所ニ依リマスレバ、少數ノ今迄ノ責任者、即チ理事等ノ負擔シマスル所ノ損失ノ金額ガ少クナル、全部ガ二倍ノ金錢ヲ支出シテソレヲ保證スルガ故ニ、責任ガ少クナルト云フコトデアリマスガ、私ハ二倍位ノ程度ニ於テ、信用組合ノ信用ガ増加スルトハ一寸期待スルコトガ出來マセヌ、ソレデアリマスカラ、寧ロ歷史上ノ事實カラ徴シマシテ、有限責任組合ヲ存置スルノガ私ハ至當デアルト思ヒマス、此點ニ付キマシテ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、又今度ノ産業組合ノ中ニ於キマシテ、市街地信用組合ト消費信用組合ヲ抜イタ理由ハ如何、抜イテ是ダケヲ有限責任組合ニシテモ差支ナイト云フ状態ニシタ理由ニ付テ、政府ノ御考ヲ御伺シタイト思ヒマス

○小平政府委員 從來ノ統計ニ依レバ、御説ノ通りニ有限責任ガ多イデアリマス、是ハ産業組合法制定當時、三ツノ責任組織ヲ認メタ關係上、組合ヲ作ル場合ニハ最も簡單ナモノニ流レ易イノハ是ハ當然デアリマス、ドウセ組合ヲ作ルナラバ簡單ナモノニシタイ、若シ假ニ有限責任ガナカッタスレバ、ヤハリ保證責任組合デ相當ニ發達シテ居ッタトモ言ヘルノデアリマスカラ、從來ノ統計デハ有限責任ガ良カッタトカ、保證責任ガ惡カッタトカ言フコトハ論ゼラレナイト思フノデアリマス、尤モ簡單ナモノヲ作レバ簡單ナモノニナッテシマフ、併シ既ニ産業組合法制定以來三十年ニモナリマシテ、日本ノ産業組合ガ殆ド全國ノ各町村ニ普及スルヤウニナリマシタ今ノ時期ニ於テ、産業組合ノ本來ノ趣旨ニ悖ッテ、組合員全員ガ相當ノ責任ヲ負フノダト言フ根本思想ヲ、此際國家ノ制度トシテ認メルコトノ必要ガ、非常ニアルノデアリマシテ、其點ニ於テモ是非此際保證責任以上ノ責任ガ、日本ノ産業組合ノ普通デアルト云フコトニ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラシテ運用ノ人如何ニ依ッテ、産業組合ノ善惡ガ決マルト云フノハ御尤デアリマス、運用ノ人如何ニ依ッテ保證責任デアッテモ、無限責任デアッテモ、有限責任デアッテモ、運用ノ人如何ニ依ッテハ殊ニ理事者如何ニ依ッテハ、ドンナ組合デモサウ云フコトニナリ易イノデアリマスガ、其處ガ其保證責任ニ變ヘルト云フ國家ノ制度上、全組合員ガ責任ヲ負フノ

ダト云フ其原則ガ認メラレルコトニ依リマシテ、從來ノヤウニ理事者委セデ、組合ガ行クト云フコトノ根本思想ヲ、破ラウト云フ精神ヲモ含メテ居ルノデアリマス、組合ニハ非常ニ犠牲的ナ理事者ガ一人アレバ、或ル場合ニハ非常ニ良ク行キマスガ、併シ本當ニ組合ガ良クナルト云フノニハ、組合員ガ全部責任ヲ負フト云フコトニナリマシテ、初メテ組合ガ良ク運用サレルノデアリマス、從ッテ日本ノ産業組合全體ノ「レベル」ヲ上ゲルト云フニハ、組合員ガ總テ保證ノ責任ヲ以テ、組合ノ爲ニ今迄ヨリハ一層ノ責任ヲ以テ考ヘルト云フコトニナッテ、初メテ産業組合全體ノ平均ノ「レベル」ガ上ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論有力ナル理事者ヲ得ルコトハ、非常ニ此際トシテハ必要ナコトデアリマスカラ、農林省デハ特ニ此臨時議會ニ、理事者養成ニ關スル特別ノ經費ヲ計上シマシテ、ソレニ依ッテ各組合員ニ有力ナル優秀ナル理事者ヲ配給シタイト云フ計畫ヲモ立ッテ居ルノデアリマス、理事者ノ良キ者ヲ得ルト云フコトハ、御説ノ通りデアリマス、ソレハソレトシテ十分政府ニ於テハ、努力シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラシテ市街地ノ信用組合ト、消費組合的ノ購買組合ヲ除イタ

ト云フ所以ハ、是ハ市街地ノ信用組合ハ、組合員以外ノ貯金ヲモ扱フ銀行類似ノ組合デアリマシテ、是ハ寧ロ現實ニ成丈ケ多ク出資サセテ、サウシテ一般ノ組合員以外ノ貯金ヲ持ッテ來ル人ニ、安心ヲ與ヘル必要ガアリ、ソレカラ又市街地信用組合ニ於キマシテハ、寧ロ市街地デアル關係上、組合員ノ相互扶助ノ觀念ガ農村程現ハレナイ、其結果寧ロ現實ニ多クノ出資ヲ拂込マセタガ、本來ノ機能ヲ發揮スル上ニ適切デハナカラウカト云フノデ、市街地信用組合ハ除外シタノデアリマス、勿論、除外シテアリマスケレドモ、市街地信用組合デモ、保證責任ニハナリ得ルコトニナッテ居ルノデアリマス、又ソレト同様ニ大都市ニ於ケル消費組合ト云フモノハ、是モ寧ロ農村トハ違ッテ、市街地信用組合的ニ組合員ニ移動ガ非常ニ多クアリマス、又單純ナ生計用品ノ購買デアリマスカラ、農村ニ於テ各種ノ事業ヲ營ンデ相當ノ信用ヲ得、各種ノ事業ガ總テ農村民ノ共同ニ依ッテ爲サレルト云フコトヨリハ、經濟用品ヲ安ク得ルト云フダケノ仕事デアリマスカラ、又組合員ノ移動ガ多クテ、組合員ニ保證ヲ付ケルト云フコトガ、サウ組合ヲ發達セシムル所以ニモナラナイト云フノデアリマシテ、所謂消費組合ニ

該當スル購買組合ハ、市街地信用組合ト同様ニ、保證責任ニ全部ヲ變ヘルコトハ、此法律カラ除イテシマッタ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○野中委員 今政府ノ御説明ニ依リマス

ト、市街地信用組合ハ銀行類似デアッテ、而シテ組合以外ノ金ヲ預ルガ故ニ宜シイト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、私共ニ言ハセレバ、是ナルガ故ニ益々有限責任デアッテハ信用程度ノ方ガ危イデヤナイカ、詰リ茲ニ二ツノ議論ガ立ツ、詰リ同ジ所カラ出發シタ反對ノ議論モ立チ得ルト思ヒマス、即チ今言ッタ通り、市街地デ他ノ金マデモ預リ得ルト云フ、サウ云フヤウナ現在ノ狀態デアルガ故ニ、尙信用組合デヤルトスルナラバ、其信用ヲ高メル、即チソレガ政府ノ趣旨トスレバ、保證責任、或ハ無限責任デアレバ信用ガ高マルト云フノデアリマスカラ、其理窟ヲ更ニ茲ニ持ッテ來ルナラバ、銀行類似ノコトヲシテ居ルガ故ニ、益々市街地信用組合ハ無限責任ナリ、保證責任ノ必要ガアルノデハナイカ、是ガ政府ノ御意見ニ對スル私ノ反對解釋ノ理由デアリマス

更ニモウ一ツ同ジ信用組合ノ性質ト致シマシテ、市街地ノ信用組合ハ銀行類似ノ仕事ヲシテ居ル、又農村ニ於テモ私ハ銀行類

似ノ仕事ヲシテ居ルト考ヘル、果シテサウトスレバ仕事ノ性質上ニ於テ少シモ變ッテ居ラナイ、此市街地並ニ農村ニ於ケル兩者ノ信用組合ガ、片方ハ有限責任デアリ、或ハ保證責任タリ得ルコトハ勿論規定シテアリマススケレドモ、片方ハ有限責任デアリ得ル、片方ハ有限責任デ有リ得ナイト云フ理由ヲ、更ニモウ少シ突込ンデ御聞キシタイト思ヒマス

○小平政府委員 市街地信用組合ハ信用程度ヲ増スガ爲ニハ出資ヲ多クシテ、成丈其出資ヲ早く拂込マシテ、サウシテ現實ニ組合ノ資金ヲ増加サセルコトニ依ッテ、信用限度ヲ擴張スルコトガ、市街地信用組合ノ性質ニ適フト云フコトカラシテ、信用限度ヲ増ス方法ヲ農村トハ違ヘテ考ヘタノデアリマス、農村ニ對シテハ寧ロ現實ニ出資ヲ多ク拂込マセテ、多數ノ農民ヲ困難ニスルト云フヨリハ、信用ト云フモノニ基礎ヲ置イテ拂込ハシナイ、出資ハシナイガ、相當ノ保證ヲスルト云フコトニ依リ信用ヲ擴張スルコトガ農村ニハ適當デアッテ、市街地ノ信用組合ニハ寧ロ出資ヲサセ、資本ヲ拂込マセテ、現實ニ資本ヲソコニ出シテ、信用ヲ得セシムル方ガ、市街地信用組合ニハ適當デアルト云フ工合ニ考ヘテ、二ツヲ區別

シテ案ヲ立ッタ次第デアリマス

○野中委員 ドウモ其點ニ於テ私ハ政府ノ御考ト違ッテ、政府ノ御考ガ違ッテ居ルデヤナイカト思ヒマス、即チ同ジ性質ノ信用組合、ソレガ都會ニ於キマシテハ有限責任デアリ、農村ニ於テハ無限又ハ保證デナケレバナラス、同ジ性質ノモノニ二個ノ法令ヲ用ユルト云フコトハ、所謂法律ノ適用、法律ノ運用ノ上ニ於テ、私共ハ是ハ差別的待遇ト云フコトハ考慮スベキモノデヤナイカ、殊ニ都會ニ於キマシテハ澤山ノ拂込ヲシテ、ソコニ對物信用ニ依ッテ信用ヲ得ル、農村ニ於テハソレ程ノ資金ノ拂込ガ出來ナイノデアルカラ——ソレハ政府ノ假定的前提デアリマスガ、拂込ガ出來ナイカラ、ソコデ對人信用ヲ中心トスル、是ハドウモ兩方トモ同ジ信用組合ノ性質上、政府ハドチヲ採ルカ、對物信用ヲ採ルカ、對人信用ヲ採ルカ、ソレハ政府ノ御隨意トシテモ、同ジ性質ノモノニ對シテ二ツニ分ケルト云フコトハ、私自身トシテハ甚ダ分ラナイコトデアリマス、勿論其點ニ對シテ政府ガサウ云フ意思デアルト云フナラバ、或ハ意見ノ相違ト云フコトニ歸著スルカモ知レマセヌカラ、此點ハ特ニ論ズルコトモ致シマセヌガ、ドウモ同ジ性質ノモノヲ二様ニ取扱

フト云フコトハ、苟モ政府ノ對策トシテハ、探ルベキ對策デハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス。

○畑委員 今日ハ大分人モ減リマシタカラ、此程度デ散會ヲ願ッテ、又明日午前十時カラ開會ヲ願ヒマス。

○樋口委員長 ソレデハ此程度デ散會致シマス、次回ハ公報デ御知セ致シマス。
午後四時二十一分散會